

平成 27 年度
交通安全指導者養成講座運営支援業務

事業報告書

平成 27 年 12 月 7～9 日

スクワール翹町



平成 28 年 2 月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

目次

1. 講座概要	2
2. 日程表	4
3. 講義概要	6
◇開講式・主催者挨拶	6
金子 昇一(内閣府交通安全対策啓発担当調査官)	
◇講義「交通安全指導における効果的な話し方」	8
藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)	
◇講義「紙芝居の演じ方」	14
おの いづみ(イラストレーター)	
◇グループ討議	19
◇講義「いきいき運転講座」	27
池田 佳代(株式会社コンセプト)	
◇講義「交通安全教育デモンストレーション」	31
警視庁交通総務課安全教育係	
◇事例発表	32
◇講義「発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について」	35
山口 直範(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科准教授)	
◇閉講式・主催者挨拶	39
福田 由貴(内閣府交通安全対策担当参事官)	
4. アンケート集計結果	41

1. 講座概要

1-1. 目的

本事業は、地域住民の交通安全意識の向上、交通安全思想の普及・浸透及び交通事故防止のための街頭活動、交通安全教育等を行っている交通指導員(シルバーリーダーを含む。)及びこれら交通指導員を指導育成する立場にある者(交通指導員等)に対し、交通安全教育に関する基礎的理論及びその実践的手法に関する知識・技能を習得させ、指導的役割を担う者を養成することにより、その効果的な活動を促進し、安全で快適な交通社会を形成することを目的として実施する。

1-2. 期間

平成 27 年 12 月 7 日(月) 受付 12:45～ 13:15 講座 13:30～17:00

平成 27 年 12 月 8 日(火) 受付 9:00～ 9:30 講座 9:30～17:00

平成 27 年 12 月 9 日(水) 受付 9:00～ 9:30 講座 9:30～11:55

1-3. 会場

「スクワール麹町」

〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-6

【アクセス】・JR 中央線「四ッ谷」駅前

・地下鉄丸ノ内線・南北線「四ッ谷」駅から徒歩 2 分

・地下鉄・有楽町線「麹町」駅より徒歩 6 分

1-4. 受講者

【対象者】

○交通指導員:

都道府県又は市区町村の長等から委嘱を受け、交通安全を目的として街頭活動、交通安全教育、広報啓発活動に従事している交通ボランティア(高齢者交通ボランティアであるシルバーリーダーを含む。)

○交通指導員を指導育成する立場にある者:

交通指導員の指導者及び都道府県又は市区町村の交通安全対策主管課の職員

【受講者数】

142 名

1-5. 配布資料

- 講座のしおり
- 講義「発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について」資料
- 事例発表資料
 - ・長野県 三澤様、大工原様
 - ・北海道 金庭様、加藤様
 - ・埼玉県 佐藤様
- 講義「紙芝居の演じ方」資料
- 講義「いきいき運転講座」資料
- DVD「いきいき運転講座」開催マニュアル
- 「いきいき運転講座」活動好事例
- 講義「交通安全指導における効果的な話し方」
- アンケート

2. 日程表

【1日目:12月7日(月)】

時間	プログラム	会場
12:45~13:15	受付	受付(3F)
13:15~13:30	オリエンテーション	錦華(3F)
13:30~13:45	開講式・主催者挨拶	錦華(3F)
	金子 昇一(内閣府交通安全対策啓発担当調査官)	
13:45~15:45	講義「交通安全指導における効果的な話し方」	錦華(3F)
	藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)	
15:45~16:00	休憩(15分)	
16:00~17:00	講義「紙芝居の演じ方」	錦華(3F)
	おの いづみ(イラストレーター)	

【2日目:12月8日(火)】

時間	プログラム	会場
9:00~9:30	受付・連絡等	受付(3F)
9:30~11:30	グループ討議(討議)	錦華(3F)
		豊・栄・寿 (5F)
11:30~11:45	グループ討議(討議結果とりまとめ)	
11:45~13:00	昼休み・休憩(75分)	
13:00~15:00	講義「いきいき運転講座」	錦華(3F)
	池田 佳代(株式会社コンセプト)	
15:00~15:15	休憩(15分)	
15:15~16:00	講義「交通安全教育デモンストレーション」	錦華(3F)
	(警視庁交通総務課安全教育係)	
16:00~16:15	休憩(15分)	
16:15~17:00	グループ討議結果発表・質疑応答	錦華(3F)

【3日目:12月 9日(水)】

時間	プログラム	会場
9:00～9:30	受付・連絡等	受付(3F)
9:30～10:15	事例発表(3組&質疑応答)	錦華(3F)
10:15～10:30	休憩(15分)	
10:30～11:30	講義「発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について」 山口 直範(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科准教授)	錦華(3F)
11:30～11:45	閉講式準備(5分)	
11:45～11:55	閉講式・主催者挨拶 福田 由貴(内閣府交通安全対策担当参事官)	錦華(3F)
	修了証配布・アンケート回収後、解散	

3. 講義概要

12月7日(月)13:30~13:45

開講式・主催者挨拶

金子 昇一(内閣府交通安全対策啓発担当調査官)



- ・昨年までの死者数については14年連続で減少し、発生件数・負傷者数については10年連続で減少した。
- ・近年では、高齢者人口の増加、シートベルト装着率上昇の頭打ち、飲酒運転による交通事故数下げ止まりなどにより、交通事故による死者数は減少しにくくなっている。
- ・交通安全教育は、生涯教育であるとも言われており、幼児から高齢者にいたるまでの各年齢層に応じた、様々な形での交通安全教育が必要であることから、問題意識を持って、講座に臨んでいただきたい。

開講式・挨拶全文

ただいまご紹介いただきました内閣府交通安全対策啓発担当調査官の金子でございます。平成27年度交通安全指導者養成講座の開講に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

受講者の皆様には、日頃より交通安全対策につきまして深い御理解と多大なるお力添えを賜わり、また、本日は師走のお忙しい中、遠方からご参加いただきまして誠にありがとうございます。

本日から3日間にわたり行われる本講座は、交通安全意識の啓発や事故防止のため街頭活動や交通安全教育に従事されている方、また、これらの分野において指導員になられる方を対象に、内閣府の事業として毎年度実施しております。

さて、昨年中の交通事故による24時間以内の死者数は4,113人で、皆様を始め、多くの交通ボランティアの方々の御協力と御尽力の下、各種の交通安全施策を推進した結果、14年連続で減少するとともに、発生件数・負傷者数も、ともに10年連続で減少しました。このことは、皆様の日々の献身的な街頭活動や地道な啓発活動が大きな力となって実現したものであり、その御尽力に対しまして、重ねて御礼を申し上げます。

しかしながら近年、高齢者人口の増加、シートベルト装着率の上昇の頭打ち、飲酒運転による交通事故数の下げ止まりなどにより、交通事故による死者数が減少しにくくなっており、11 月末現在の速報値では、交通事故による死者数は昨年比+2となっているところであります。

交通事故の防止は、国を挙げて取り組むべき重要な課題であり、悲惨な交通事故を極力減らすためには、今一層、官民一体で取り組んでいかなければならず、また地域で活躍なされている皆様方の役割も非常に大きく、内閣府といたしましても大いに期待しているところであります。

今回の講座につきましては、「現在の交通情勢に対応して子供と高齢者に対する交通安全教育の指導方法」を中心に、講義や各地域の方々の事例発表、テーマ別の討議などにより、基礎的理論や実践的手法に関する知識・技能を身に付けていただけるようにプログラムを組んでおります。

交通安全教育は、生涯教育であるとも言われており、幼児から高齢者にいたるまでの各年齢層に応じた、様々な形での交通安全教育が必要であることから、この講座は大きな意義があるものと考えております。どうか問題意識を持って、講座に臨んでいただきたいと思っております。

最後になりますが、皆様方がこの 3 日間の講座で所期の成果を挙げられ、有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、開講の挨拶といたします。

講義「交通安全指導における効果的な話し方」

藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)



配付資料:「交通安全指導における効果的な話し方」

本講義の目標:

効果的な話し方のスキル、知識、技能の習得

【交通安全指導者の使命】

1.交通安全指導者は、「規範を守る道徳的な人間としてのお手本」

(1)交通安全指導の「目的」は何か？

—尊い命を守り、安心・安全な街づくり。

(2)交通安全指導の「目標」は何か？

—ルール、マナーを守る態度の教育。

—知識を伝達するための道具である話し方のスキルを身につける。

交通安全指導者の使命

- ・規範を守る道徳的な人間としてのお手本。
- ・法令を語るということは、堅苦しさを覚えてしまう。
- ・ルールを正義感強く「～して下さい」と言われると、高圧的に感じる。
- ・「守・破・離」から、個性の話。

2.一度きりの人生！幸せを実感できる日々を送ろう！

①生活習慣を整える

②健全な社会生活

③ルールを守る道徳的な人間形成の実現

- ・生活習慣の乱れは作業効率、学習能力の低下につながる。
- ・睡眠をないがしろにしている人が多くいる。睡眠不足も飲酒と同じく危険であり、子供に与える影響を考える。
- ・保護者の責任として、子供の生活習慣を整える。

【指導者に求められる基本的事項】

1.心構え

(1)聴いてもらうという姿勢が大切である

- (2) 自分を磨くことである → 教えることで身につく
- (3) 話し方の3原則(明朗、正確、肯定表現)を守る
- (4) 目的と目標を達成するために、熱意を持ち、自信ある態度で指導にあたる
 ※「自信」は、「知識・経験・技能」の度合いによって生まれるものです。
- (5) 指導者の「タスク(課業)」を理解する
 ※タスクがわかれば、教育技法と指導技術の選択・決定ができます。

2. 求められる能力

- (1) 分析力と観察力
- (2) 身体的 … 健康、視力、聴力、音声明瞭
- (3) 人柄 … 人間的魅力(指導を受ける方々への影響力)
 - ① 時間と約束を守る
 - ② 誠実、明朗、公平である
 - ③ 嘘やごまかしがない

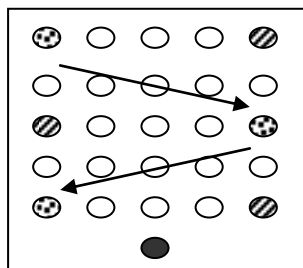
【指導者に求められる実践スキル】

1. テクニックを学ぶ前に … 交通安全指導現場での心得

- (1) 幼児・学童に対して
 - ① 分別のある賢い子供を育てるために
 - ② 質問法の活用
 - (2) 学生・高齢者に対して
 - ① 「命令形」より「依頼形」
 - ② 手の話を復唱する時は、相手の使った言葉で繰り返す
 - ③ 相互関係の一線を越えない
 - ④ 話し方に『情』を込める
- ※相手に質問し、その答えをそのまま返すデモンストレーション(オウム返し)
- ①～④の要素の①を省くだけで伝わらなくなる。

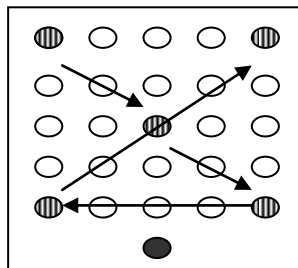
2. 基本動作としての視点法

(1) 3点法



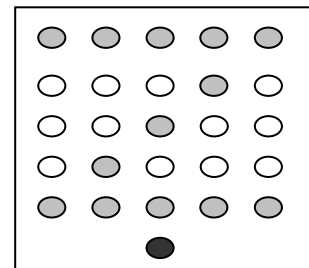
受講者数
 少人数から30名位

(2) 5点法



受講者数
 30名～80名位

(3) Z視点法



受講者数
 少人数から多数

自分の印象を管理する

◎好意の統計(アルバート・メラビアン)

Total liking	=	Facial linking	+	Vocal liking	+	Verbal liking
(100%)		(55%)		(38%)		(7%)
		・笑顔や表情		・声の調子		・言葉
		・身嗜み		・話し方 等		・話の内容 等
		・所作 等				

思考整理術をマスターする

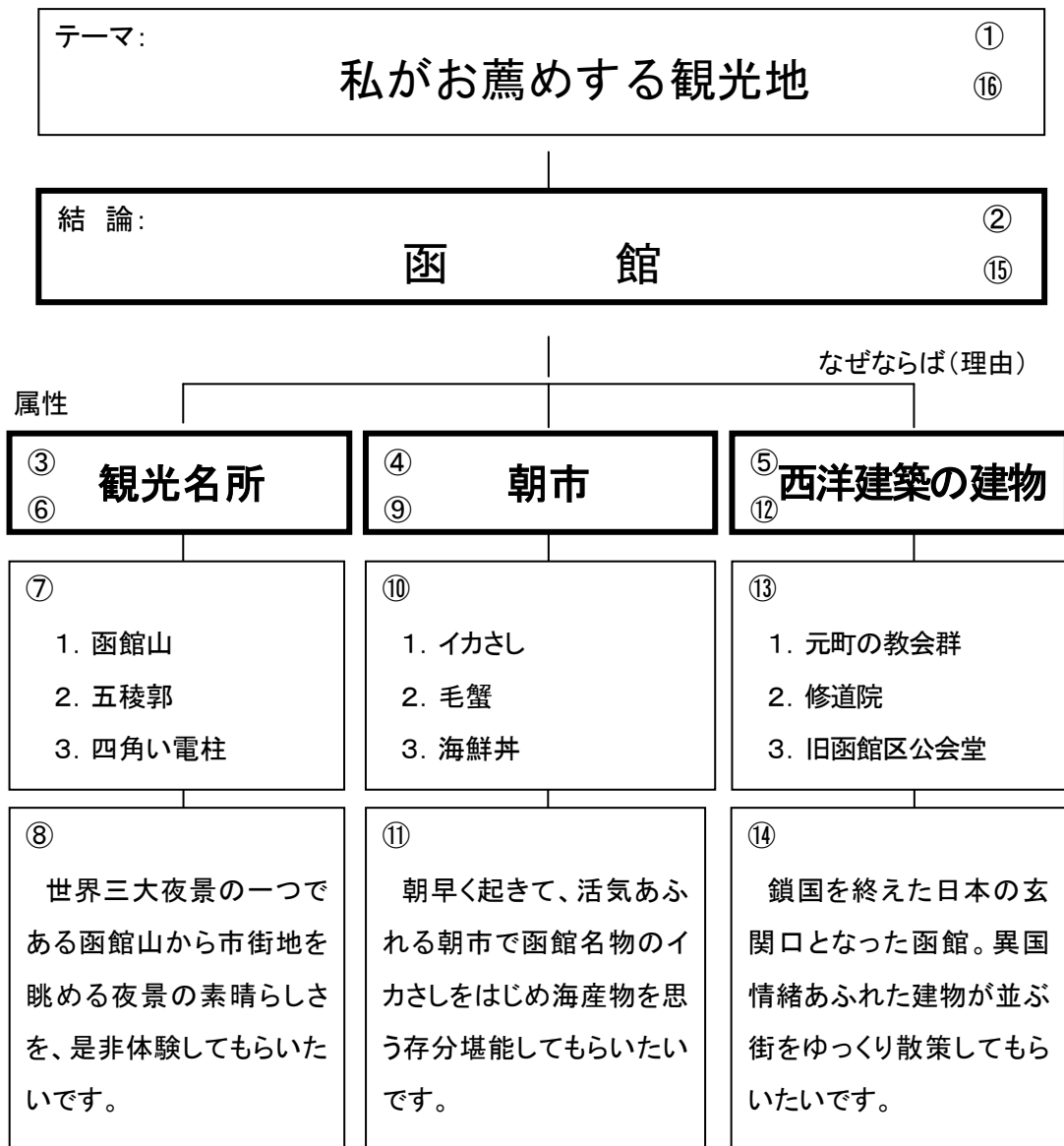
※ロジックツリーを用いたスピーチトレーニング

【ポイント】 1. 文字量を揃える … 簡潔明瞭な文章

2. 文体表現を整える

3. 異質な情報を混在させない … 視点のズレ防止

例



【質問】

話し方、聞き方、どれもすぐに実践したい素晴らしい内容でした。特に睡眠についての話に興味があります。交通安全教室での子供達の集中力の無さ、落ち着きの無さが気になります。最近の幼児・児童の睡眠の傾向と行動について、知っておくと良い情報、気をつけるべきことなど、小中学生の親としても知りたいことがたくさんあります。アドバイスがございましたらお願いいたします。

【回答】

大人の生活スタイル(夜遊び、遅寝など)に合わせられている子供達(特に、幼児と児童)。インターネットの普及により、夜遅くまでパソコンやスマートフォンでゲームをする子供達。朝食欠食により、夜の睡眠ホルモンがつかられない子供達。生活習慣の乱れは、「集中力の無さ」につながります。

近年、夜型生活の影響により、多くの方が睡眠障害をきたし、健康を損ねています。これは、大人だけの問題ではなく、睡眠不足を感じる割合は、小学生59%、中学生67%、高校生74%と、いずれも大人の56%を上回る結果になっていて、国民の5人に一人が睡眠に関する何らかの問題(特に不眠)を抱えていると言われています。

★睡眠不足による脳機能の低下★

脳の前側(前頭葉)には、外からの情報に基づき、「理解して→判断して→何をするかを決定する」という働きがあります。意欲・やる気のコントロール、感情の表現、感情のコントロールなども前頭葉の重要な機能です。これらの機能は、脳の中のホルモンによりコントロールされていますが、あるホルモン(セロトニンと言います)が充分に出ないと、感情のコントロールがうまくできなくなることが知られています。

近年、子供と限らず大人でも「キレル」現象がよく問題になっていましたが、「キレル人」も脳の中のセロトニンが不足しているためと言われています。更に、睡眠ホルモン(メラトニン)自体がセロトニンから作られているため、「睡眠不足→脳内ホルモン不足→睡眠不足」と悪循環を繰り返すのです。また、ヒトの記憶は、午後10時から午前2時くらいに脳内に定着することがわかっています。

つまり、勉強のために夜遅くまで起きていても、眠らなければ勉強の成果を得ることはできないのです。

★アドバイス★

1. 眠る時間より起きる時間にこだわる(早起きした人が早寝できる)
2. 起床後に日光を十分に浴びる(体内時計のリセット)
3. 朝食と昼食を必ずとる(覚醒・睡眠ホルモンを分泌させる)
4. 夜は照度に気をつける(夜は、300lxの光で睡眠ホルモンを抑制する)
5. 夜遅くの重い食事、過度の運動、熱い入浴を避ける(交感神経が優位)

【質問】

素晴らしい講義ありがとうございました。話すこと、伝えることの大切さを改めて感じました。睡眠のお話をもっと聞きたかったです。睡眠不足がもたらす悪い影響について知りたいです。

【回答】

★睡眠障害(不眠症、睡眠不足)の弊害★

1.脳機能への影響:

集中力・記憶力の低下、学習能力の低下、注意維持の困難

2.こころの健康への影響:

意欲・創造性の低下、感情コントロール不良、うつ病などのリスク増大

3.身体健康への影響:

身体回復機能の低下、生活習慣病(糖尿病・高血圧)の増加

4.行動への影響:

朝食欠食、業務中の居眠り、ミスや事故の増加

【質問】

睡眠は本当に大事だと思います。私は三交代勤務で糸製造をしていました。睡眠は3~4時間で休日に休むようにしていました。やはり睡眠は8時間は必要ですか？

【回答】

睡眠時間は、人それぞれで「8時間がベスト」とはなりません。睡眠を「時間の長短」で捉える人が多いですが、睡眠は「質と深さ」が問題であり、リズムが重要です。従って、平日に作ったリズムを休日に崩してしまう人がいます。できれば、休日も頑張ってウィークデーと同じ時間に起きて、睡眠が足りないと思ったら、昼寝をするといいですね。ただし、午後4時過ぎまで寝ていると、夜の睡眠に悪影響を及ぼしますので注意してください。

★質の高い睡眠の3条件★

1.入眠潜時が短い … 床に入って眠るまでの時間は、8~30分が望ましい

2.中途覚醒しない … 寝たら朝まで起きない

3.目覚めスッキリ … 目を覚ましたら、すぐ床から出られる

【質問】

話をするとき、頭に「はい」と言ってもいいでしょうか。相手に対してどう思われるか？(例)はい、そうですね

【回答】

相手から質問された、話しかけられた場合の受け答えとして、「はい」から話し始めることは良い

と思います。例に出してくださった「はい、そうですね」という言い方は、とても優しい表現で、相手を受容していることになります。これからも、相手の話をこちらが受けて話し始める時は、使ってください。

【質問】

老荘大学において高齢者の事故が多い、高齢者は体の衰えを自覚することが大切と高齢者という言葉は何回か使ったところ年寄扱いされたとの意見もありましたが、高齢者の方を何と呼んだらいいでしょうか。

【回答】

「皆様は…」が、一番無難であると思います。あるいは、「熟年世代の皆様は…」という言い方もあると思います。

世の中には、高齢者という言葉に過剰反応する人がいます。その場合は、どのような言葉で表現しても、「年寄扱いされた」と思うかもしれません。そこで、個別対応できるのであれば、苗字を言って差し上げるとよいでしょう。

多数の方々に向かって呼びかける場合は、やはり「皆様は…」がよいと私は思います。

【質問】

資料p11の安全五則まみむめもが気になりました。もし教えていただけたら…と思います。

【回答】

ま	待つ	車が見えた時、通り過ぎるのを待つ。次の青信号を待つ
み	見る	左右をよく見る
む	無理をしない	信号が変わりそうな時、無理をして道路を渡らない
め	目立つ	目立つ服装をする(反射材をつける)
も	もっと知る	自分の身体能力を知る

講義「紙芝居の演じ方」

おの いくみ(イラストレーター)



- 紙芝居は幼児、小学校低・中学年に対する交通安全教育の中で、大いに役立つ手法である。
- 動かない絵をいかに魅力的にみせるかが重要となる。
- 紙芝居は集団で感動を分かち合うもの。演じる前に必ず繰り返し下読みをして、登場人物の気持ちや個性等をつかむことが大切。

紙芝居は一人でいくつものキャラクターを演じるため、キャラクターを区別できるよう、以下の表現方法を学んでいく。

【発声の基本】

・お腹から声を出す方法

背筋を伸ばし、お腹に空気を入れて、お腹から声を出す。また、滑舌を良くするために、「あ・え・いう・え・お・あ・お」「か・け・き・く・け・こ・か・こ」・・・、という発声練習をする。口の開け方、形を意識して行う。

【間の取り方】

物語のポイント、場面が変わるところでは、一呼吸おいて間を取って読んでいく。

紙芝居によっては、間を取るタイミングが記載されているため、そこでは少し長めに間を取る。

【喜怒哀楽の表現の仕方】

喜 = 明るく、楽しく笑う

怒 = 低めの声で口をとがらす

哀 = 悲しみの表現、泣く、泣きじゃくる、すすり泣く

楽 = 明るい声でやや早口に

喜怒哀楽に、「明暗高低」を付け加えると、8種類の声のバリエーションを作ることができる。

「高低、緩急、強弱、明暗」の声を使い分ける。

【演技の基本『声』について】

- ・声色は使わず、音階(ドレミファソラシド)、口の開け方、高低、緩急、強弱、明暗で、登場人物の声を使い分ける。
- ・主役は演者ではなく、あくまで紙芝居の中の主人公であることを忘れない。
- ・ナレーションも、場面に合った語りができるように。
- ・擬音を表現する際に太鼓などを使用すると、子供達の注意が道具に向かってしまうことがあるので、できるだけ、道具に頼らずに擬音は口で表現した方が良い。

【演技の基本「間」について】

- ・息つぎの間
⇒場面の状況が変わるところで、息つぎをする。
- ・話変わりましての間
⇒場面転換や状況が変わる時に取る間。例えば、台風の前から、台風一過で青空が広がった朝への場面転換時に、3秒ほどの間を取る。
- ・ドラマを生かす間の取り方
⇒観客に期待を持たせる「間」、考えさせる「間」、心理的表現をする「間」、会話の中での「間」などがあるが、これらの場合の間は、何秒あけなければいけない、という決まりはないので、自分で秒数を考えて間を取る。
- ・登場人物の気持ちになった間の取り方
⇒余韻を残す「間」。
※紙芝居によって間の取り方は異なる。自分で紙芝居を読んで内容を理解し、間を取るようにする。

【演技の基本『ぬく』について】

- ・紙芝居は平らに抜く
- ・途中まで抜いて止める
⇒2枚で3枚分のストーリー展開の効果が得られる。
- ・サッと抜く
⇒早く抜く。緊張感がある場面で使用する。
- ・ゆっくり抜く、静かに抜く、抜きながら話す
- ・画面を動かす
⇒場面によって上下前後に紙芝居を揺らすと風に吹かれている様子や歩いている場面など臨場感を表現できる。

【発生の練習】

- ・男性が女性の声を、女性が男性の声を練習。
- ・ドレミファソラシドの音階で練習をする。

【紙芝居を実演】

※紙芝居の大筋を変えない限り、自分の演じやすいように言葉の言い回しを変えてもよい。

【紙芝居を演じる際の要点】

- 1.紙芝居を演じる前に、必ず下読みと練習をすること。
- 2.その紙芝居の状況と出てくるキャラクターを自分の中で理解する。
- 3.ナレーション、セリフでは声の高低、緩急、明暗、強弱を使い分ける。
- 4.ドレミの音階を使用することで低音は男性、中音は女性、高音は子供と、声色にこだわることなく演じる。
- 5.喜怒哀楽を表せるように、練習する。
- 6.技術ではなく、繰り返し練習して演じることで、自分なりの紙芝居ができる。自分自身が感動して楽しんで演じることで、子供達に感動や共感を与えられるようにする。

===== 質問・要望・感想 =====

【質問】

紙芝居の教材について、どんなものがあるのか情報を頂ければと思います。

【回答】

以前母の会より、毎年全国に配布させて頂いた私の交通安全紙芝居 20 作品が有りました(市役所等交通安全部門に保管されているかもしれません)。配布なので市販されていません、すみません。それと昨年までTOYOTAさんの交通安全紙芝居、クックちゃんシリーズが、受講者の皆さんに配られていました。5～6 冊有ると思います。後は、紙芝居専門の出版社が交通安全の紙芝居を作成しています。ネット検索してみるのも良いかと思います。

【質問】

おの先生が今まで使用された紙芝居で交通安全教育に非常に効果があると思われる紙芝居があったら教えていただきたいと思います。

【回答】

私が演じている紙芝居は、自作のものを演じていますので、お役に立つのか分かりませんが、「ぴよんぴよんピョン太」「ドライブドライブ」「ゆう太の不思議な一日」等、飛び出して怖い思いをして、後で夢で良かった…又は助かったから絶対気をつけよう！主人公の気持になって涙ぐむ子等、子供達が物語の中に入って来れるような紙芝居が、一緒に考え共感できるので効果的だと思います。

【質問】

声色を遣う必要はないと言っていましたけどどういう意味でしょうか。音程や調子をかえるのが声色だと思っていました。

【回答】

声色と表現して初めてこのような質問を頂き、説明不足だったと反省しています。確かに、声色＝声の音色、声の調子、こわねですが、別の意味で、「他人、特に役者や有名人のせりふ回しや知人の声を真似る事、又は声帯模写」と言う意味が有ります。

声色を自然にできている方も沢山いらっしゃると思います。

私は若い頃から身近な動物の鳴き声や、鬼太郎の目玉オヤジ、魔法使いサリーとヨッチャン、ポパイとオリーブ等々自然に声真似していましたが、このようなモノマネの声ができないと思われている方に、モノマネでは無く、自分の声でドレミの音階に合わせて、声の強弱・緩急・高低・明暗を使い、喜怒哀楽などを表現できる事をお伝えしたかったのです。

それが、声色を使う必要が無いと言う意味で、ご理解下さい。

【質問】

普通の4倍ほどのジャンボ紙芝居を6人くらいでやるのですが、制服を着た私たちは子供達から隠れた方がいいでしょうか。

【回答】

その県、その地域で皆さんが工夫をして紙芝居をされているのを非常に嬉しく思います。あの講義のサイズの紙芝居では一人で演じる事が、あくまで基本という事でお話ししましたが、大きな紙芝居で、紙芝居の内容がどれ位子供達に印象付ける事ができたか、制服の皆さんがいればこそ、であれば隠れる必要は無いと思います。紙芝居が主役ですが、皆さんの演じ方の工夫によって、子供達が交通安全を意識し、交通事故に遭わないように思ってくれる事こそ大切な事だと考えます。

【質問】

紙芝居をよくしますが、一人ではなく登場人物の人数分で5人いたら5人、ナレーションと多人数ですのですが、一人二役とか人数が少ない方がいいのか。

【回答】

確かに、登場人物毎にそれぞれの人が演じているグループが有りますが、誰かが都合でできなくなった時の事を考えて、全員が全ての人物やナレーションをできるようにして頂ければ、そして、セリフとセリフの間で物語りが途中で切れてしまわないようになれば、問題無いと思います。ただ紙芝居は一人で演じる事が基本ですので、少ない人数で演じる事ができれば、一度に2グループが別々の場所で安全教育を行なう事も可能になります。

【感想】

- ・紙芝居の演じ方について具体的な声の高さ等大変参考になりました。また、最後に教えていただいた歌もぜひ今後使わせていただきたいと思っております。
- ・“歌で標語”是非挑戦してみたいです。
- ・紙芝居の内容がもう一つ分かりづらかった。「森の中を通過して・・・」防犯の話かな？と思ってしまった。
- ・H28年1月にパネルシアターを保育園ですることになっているのですが、声の出し方や下読みが大事という事など、知らないことばかりだったのでごく勉強になりました。ありがとうございました。活用していきたいです。
- ・「お母さんがいってはいけないところ」についても矛盾のないような筋運びが必要なのではないのでしょうか。「いってはいけないところ」ではなく「気をつけるところ」に修正するなど。いかがでしょうか。
- ・紙芝居は素晴らしい演じ方でよかったのですが、最近の良い教材がなく実際には行っていません。教材の紹介もしてほしいです。
- ・紙芝居の演じ手が動きすぎのように感じたがどうなのか？
- ・九州、まだ宮崎には「紙芝居」までは来ていません。場所、内容に偏る？そんな気がしました。やはりいろんな人に会うのが大事だと思った。発想の転換、新しい考えがわくかもしれない。
- ・市の消費者教室で「悪質商法の寸劇」グループで活動しています。素人がやることだから、ボランティアだから、という甘えを持たないで役の人の年齢、性格、生活態度を背景に声のトーンや速さ、誰が誰に言っているのか等指導していきます。私はナレーション担当なので、先生の語りを遣わせていただきます。恥ずかしがらず自信を持ってできそうです。紙芝居がとても役立ちました。ありがとうございました。

12月8日(火)9:30~11:45

グループ討議:Aグループ

討議内容:幼児・児童の交通安全

司会進行:宮脇 健(奈良県)

書記:青木 奈津子(静岡県)

発表者:深澤 由理(東京都)



【論点】

・指導方法

【現状の課題・問題点と対応状況】

交通安全教室での指導ではその場限りになってしまうので、家庭での指導を浸透させたい

・保護者の交通安全に対する意識が低いのではないか

歩行指導の実施

・警察官がいなくてもいいのか

・交通事情により実施できない

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

保護者向けの交通安全教室の開催し、保護者の交通安全意識の高揚を図る

・忙しくてなかなか集まらないので、迎えの時間より少し早く来てもらい、交通安全教室を開く

・入園前説明会等、保護者が集まる機会に交通安全教室を実施することで、保護者の意識を高め、家庭での継続的な交通安全教育を実施し交通事故防止につなげたい

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

・山形県も年に7~8回交通安全教室をしているが、多く開催しても意識付けは難しい

グループ討議：Bグループ

討議内容：幼児・児童の交通安全

司会進行：村田 勝彦(山口県)

書記：朝倉 志穂(岩手県)

発表者：上野 泰典(大阪府)



【論点】

- ・年代に合った効果的な指導方法・教材

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・幼児が興味を引き、インパクトを与えられる分かりやすい教室とは
- ・初めての交通安全教室を進めるにあたって、登下校時の指導とその現状の問題点
- ・見守り隊による“自分の目で判断しない子供”
- ・教室ではできても実際にはできない

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・講習等での意見交換による交通安全指導の内容の工夫、改善、充実
- ・親、地域への指導を充実「交通安全は家庭から」
- ・繰り返し指導する

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

【千葉】

- ・足・目・手・耳の絵からの導入
- ・室内でも模擬道路と車を使用

【和歌山】

- ・「左右どっち」の歌を作る
- ・クイズ形式も取り入れる

【東京】

- ・元婦人警官による指導
- ・希望があれば警察官とともに歩行訓練
- ・中学生にはスタントマンを用いて行う

【大阪】

- ・パワーポイントを利用して作成したものをホームページに掲載する
- ・自転車シュミレータの利用
- ・子供が分かりやすい言葉で指導をする
- ・クイズ形式にしたり歌を活用した指導で興味をひかせる

- ・自動車学校内での指導(実際に車を使用して死角や内輪差を見せる)
- ・季節によって子供の態度が違うので、その時々で指導法を変える
- ・手品等で興味を引く
- ・現場での指導院による声掛け
- ・先生、保護者とともに交通安全教室(手紙作成と配布)

グループ討議:Cグループ

討議内容: 幼児・児童の交通安全

司会進行: 平野 マリ子(新潟県)

書記: 松尾 優希(長崎県)

発表者: 吉田 まゆみ(兵庫県)



【論点】

- A. 認知・判断・操作を取り入れた参加型交通指導について
- B. 室内での効果的な訓練指導の方法
- C. 子供向け教室での取り組み方(使用する道具など)

【現状の課題・問題点と対応状況】

- A ・誰も見ていない時の横断
 - ・教える人、教わる人に温度差がある
 - ・目的を必ず伝える
 - ・先生と協力しておつかいを実施して、自分で判断させる
 - ・中学生以上を対象にグループ討議をさせ、交通安全について考えさせる

- B ・パワーポイント
 - ・信号や横断マット使用
 - ・シュミレーター、大型紙芝居を用いた指導
 - ・ダミー実験、死角、内輪差実験
 - ・腹話術や手品
 - ・交通安全の歌

- C ・カラーボールを信号に見立てる
 - ・交通安全ビンゴゲーム(標識の絵で)
 - ・交通安全かるた
 - ・魚釣りゲームの要領で、竿で釣り上げたカードを後ろにある、抜けている絵に貼ってもらう
歩いている人は右側を歩くか、左側を歩くか判断して貼る、など。ヒントカードも作ったりする
 - ・警察署と指導員で連携をとりながら、車をつくったりして寸劇をしながら行っているのが人気
 - ・パワーポイント

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・熱意が大切
- ・子供扱いしない

グループ討議:Dグループ

討議内容: 幼児・児童の交通安全

司会進行: 近下 一孝(広島市)

書記: 古賀 可南子(長崎県)

発表者: 中末 雅恵(広島県)



【論点】

- ・安全意識を行動に移させる年代に合った教材、情報
- ・子供達が道路横断の際に手をあげて渡る工夫

【現状の課題・問題点と対応】

- ・親の交通安全に対する無関心
- ・教材のマンネリ化
- ・情報不足
- ・初めて指導員になった人が指導の仕方が分からない
- ・ドライバーとしては子供が横断歩道の前にいても渡るかどうか分からない
- ・手をあげることに意識がいきってしまい、左右確認が不十分になってしまう

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・親が参加するPTAの会などで講話をする
- ・教えることは重複しても同じ教材は使わず、その時代に合ったキャラクターを使う。1～3年
で変える
- ・他県などから情報収集ができるようホームページを開設する
- ・指導員共通マニュアルを作る
- ・一番は「止まれ」。手をあげる前に必ず止まること
- ・左右を確認するときは手をあげ、渡るときにはおろす。手をあげていると車が来ているのが見えにくくなるので、手をあげることは「渡りますよ」というドライバーへの意思表示であることを伝える
- ・「止まる、見る、待つ」の3パターンで覚えさせる
- ・指導する人がしっかり道路交通法などを学ぶ

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・1時間は幼児がもたないので30～40分間でできる交通安全教室を行う
- ・歌で交通安全教育をする
- ・長いスタンスで繰り返し指導をする

グループ討議:Eグループ

討議内容:高齢者の交通安全

司会進行:田中 柳子(千葉県)

書記:松村 貴子(広島県)

発表者:澤木 夏未(静岡県)



【論点】

- ・身体機能の低下を自覚してもらうための効果的な指導法について
- ・受講者が興味をもってくれるような指導の内容及び流れ

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・高齢者は視野がせまくなっているが、身体機能の低下の自覚がない人が多い
- ・歩幅が狭くなっているので道路を渡りきれないが、それを個人が理解していない
- ・無事故、無違反という自信があり、自分は大丈夫だと思い込んでいる
- ・教室での話がマンネリ化してしまい、話をあまり聞いてもらえない
- ・車がないと生活に困る人もいるが、車に乗ると危険ということを知ってもらう必要がある

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・免許の返納についてお話をする
- ・交通安全教室に来られない高齢者の方には、直接自宅訪問などをしてグッズをお渡ししたり、お話をしたりする
- ・地域の事故があった場所を写真を撮って見せる
- ・新しい情報を新聞やニュースで聞いたことはあるが、詳しく知らないという方がいるので、詳しく教える
- ・横断歩道で歩行の疑似体験をしてもらう

グループ討議:Fグループ

討議内容:自転車の交通安全

司会進行:伊藤 孝之(三重県)

書記:金庭 摩梨(北海道)

発表者:佐藤 初江(広島県)



【論点】

- ・正しいルールを効果的に伝える指導方法
- ・対象者別・年齢層別の指導方法

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・パワーポイントでアニメーション機能を使い、子供に視覚的に見せることで危険予測を教える。
- ・校庭にラインを引いて、踏切の渡り方や自分の自転車を持って来させヘルメットを着用させた実演をしている。
- ・幼稚園の親へのレッスンとして、日程を決め、5分レッスンを実施している。
- ・ヘルメットを学校に対し、強制はできないか。

現状努力義務でしかない。学校令として、自転車通学をするために許可証を発行する学校もあり、その際にヘルメット購入を強制している学校もある。

また入学時の物品として、必ず買わせるという学校もある。

- ・DVDを見せたり、推進隊がいるところは自転車大会なども開催している。
- ・マンネリ化しないこと。興和、模擬、実地など年々組み換えながら行う。
- ・交通安全教室を実施する。マスコットを配布する。

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・幼稚園のおたよりに「ヘルメット着用」と大きく入れ、アピールをする。
- ・高齢者には免許の返納を勧める。しかし、それに伴い自転車事故が増えている。
- ・エアハンドルを使った講習を行う。
- ・免許返納の特典を付けるなど工夫をする。
- ・もっと反射材を普及させる。
- ・幼児への指導…自転車に乗ってからではなく乗り始める前からヘルメット等について啓発活動に参加させることにより、参加者自身も一般のドライバーにとっても効果的な啓発活動になる。
- ・小学生への指導…ブレーキの掛け方を中心に指導する。
- ・中高生への指導…スタントマンによる実験が効果的である。
- ・高齢者への指導…実体験のアプローチが効果的。自転車でも反射材を活用させる。

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・中高生はルールを知っているけれど守らないという人が多いため、スクリーンを見せる。自分も被害者だけではなく加害者になり得るということも伝える。
- ・「ぶたはしゃべる」などごろ合わせで覚えさせる。
- ・クイズ形式にする。

グループ討議:Gグループ

討議内容:自転車の交通安全

司会進行:中佐古 雅祥(広島県)

書記:松浦 友範(和歌山県)

発表者:中佐古 雅祥(広島県)



【論点】

自転車の右側走行・信号無視をなくすには

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・自転車ルールの認識が乏しい。(自転車が車両という認識が乏しい)
- ・道路整備ができていない。
- ・大人への交通安全教室が浸透していない。

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・時間や場所によって交通事情が異なるため、現地における指導が大切である。(警察との連携)
- ・相手を思いやるマナーの必要性を訴える。
- ・地元の方々から声掛け運動をしてもらう。(地元の方々が一番危険個所を分かっているため)
- ・保護者、子供、高齢者が一緒に集まれる機会をつくり、教室を行う。
- ・運転免許更新時に、講習で自転車の講義も入れてもらう。
- ・企業にも働きかけ、社員への交通指導を行ってもらう。

講義「いきいき運転講座」

池田 佳代(株式会社コンセプト)



配付資料:

①いきいき運転講座」教材

DVD「いきいき運転講座」開催マニュアル、
進め方の手引き、リーダー用資料、「交通脳トレ3ヶ月」

②本日のデモンストレーション用資料

- ・交通脳トレコピー
 - まちがい探し
 - 文字ひろい
 - 計算・音読
- ・ワークシート 危険予知

③「いきいき運転講座」活動好事例

【「いきいき運転講座」とは】

従来、交通安全教育のイメージは「黙って座って話を聞くだけ」「面白くない、早く終わってほしい」といった、つまらないイメージを持つ人が多かった。そこでそのような従来のイメージを覆すのが「いきいき運転講座」である。「交通安全トレーニング」と「交通脳トレ」を組み合わせた新しい手法による楽しい学習で、日本自動車工業会が制作した。

受講者数は2008年8月より約23万人にのぼり、90%の受講者(主催者)から良かったという反応があった。

受講者からは「楽しく勉強できるから身に付く」「話し合ったことは忘れない」「楽しくて時間がたつのが早い」などの声があり、交通安全担当者の方からは「対話や発表をすることで、考えさせ、意識を変えることができるこれまでにない新しい講座」という声があった。

【「いきいき運転講座」の目的】

高齢ドライバーの交通事故が増加しているが、高齢者の方たちは交通手段が他にないことや、家族や友人との交流を楽しむために運転を続けたいと考えている。

そこで、「運転を必要」とされる高齢ドライバーに、長く健康で安全に運転を続けていただくための交通安全教育プログラムとして「いきいき運転講座」を開講している。

【「いきいき運転講座」の考え方】

- ①コミュニケーション力を高める→「いきいき度」アップ
 - ②自分で考え、行動を変化させる→「交通安全力」アップ
- 以上の変化を図ることができる。

【「いきいき運転講座」の特徴】

- ①小グループ学習などを通してよい仲間づくりをすることで、安全に行動することができる。
- ②話し合いを中心に進めるため、問題を自分たちで解決することができ、行動を変化させる。
- ③交通脳トレや話し合いで、脳機能を高めながら交通安全を学習できる。
- ④ドライバー、助手席、歩行者、自転車の立場で話し合いをするため、免許を持っていない方でも参加ができる。

【高齢ドライバーの事故時の違反】

安全不確認や、一時不停止の違反が多く、標識の意味は理解しているが実際に行動をチェックすると正しい行動がとれる人は15%しかいなかった。

【「いきいき運転講座」の流れ】

(1) 脳の能力を高める脳トレ

1 日分、2 問を実施(時間がないときは 1 問)。良いムード作りにも役立つ。

(2) 交通安全トレーニング(グループ学習)

ワークシートを活用し、ディスカッションを行う。質問は 5 つから 8 つくらいで、答える中で、解決策が見つかるように組み立てられている。

ワークシート 運転の自己評価

- ①四輪車に乗って、一時停止標識と停止線のある細い道から 2 車線道路に出る際に、きちんと止まって、安全確認をしているか 100 点満点で自己評価する。
- ②どのようにすれば安全に通過できるかディスカッションを行う。
- ③ビデオを見て、停止線で止まった車の数を数える。
- ④ビデオを見てどんな感想を持ったかディスカッションを行う。
- ⑤ビデオの解説編を見て、なぜドライバーは脇道から通りに出る際に一時停止をしないのかについてディスカッションを行う。
- ⑥もう一度、運転の自己評価を行い、映像を見たり、ディスカッションを行った後の自己評価に変化があったかどうか確認する。

歩き方・自転車の乗り方の自己評価、信号機のない交差点の通過

- ①歩き方・自転車の乗り方の自己評価を行う。
- ②どのようにすれば信号機のない交差点を安全に渡れるかディスカッションを行う。
- ③ビデオを見て横断する前に安全確認した歩行者、自転車の数を数える。
- ④ビデオを見てどんな感想を持ったかディスカッションを行う。
- ⑤ビデオの解説編を見て
 - (1)なぜ歩行者や自転車は横断する前に安全確認をしないのか。
 - (2)安全確認しなかったためにヒヤリとした経験があるかについてディスカッションを行う。
- ⑥もう一度、歩き方・自転車の乗り方の自己評価を行う。
- ⑦映像を見たり、ディスカッションを行った後、考えたこと、運転に生かそうと思ったことを確認する。

===== 質問・要望・感想 =====

【質問】

自分の運転を振り返るの「車間距離」で信号停止からスタートしたばかりの車間距離なので、受講者から「しかたがない」といった意見が出ます。

【回答】

車間距離を測るために、直線道路でビデオ撮影をしております。信号が設置されていない箇所を選んで撮影しておりますので、「信号停止からスタート」というご指摘がわかりませんでした。

【質問】

人に話を聞いてもらおうとすると、話題の引き出しをいっぱい持つことが大事ですね。その引き出しを作るため、日々どんな努力をなされているのですか。新聞、テレビ、友人との会話、市からの公報、自分の好きなこと etc...

【回答】

高齢者の皆様の講習をさせていただき思いましたのは、交通安全が身近な問題であり、しっかりと意見をお持ちということでした。皆様のご意見を引き出しながら、講習を進めることが重要ではないかと思っております。

講習時には、できるだけ会場におられる複数の方に質問し、意見を伺いながら、話を進めるようにしております。お考えを伺うことで、どんなことに問題を感じておられるか、どのようなお考えのもとに行動しておられるかがわかります。

また、お話をうかがうことで、その方の関心を引き出せるだけでなく、会場の方にも興味を持っていただけるように感じております。

その上で、お伝えしたいことをお話するよう、心がけております。

話題の引き出しですが、私もお教えいただきたいと思います。

交通事故については毎年出される交通事故分析センターの交通事故統計で、変化をつかむようにしてあります。

よく活用しているのが、交通事故分析センターのHPです。データや事故分析の要約、研究者の発表などを読むことができ、今の問題がわかります。

新聞やテレビのニュースもよい情報源になると思います。

【感想】

・日頃気付かずにしていた行動を客観的に見てみることで「気付き」となり、すべての立場の人にも安全な生活につながるようになりました。

講義「交通安全教育デモンストレーション」
(警視庁交通総務課安全教育係)



警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係の活動紹介

【警視庁で実施されている活動について】

- ・警視庁女性白バイ「クイーンスターズ」のご紹介

【導入について】

- ・安全教育に入る前には「導入」を入れる。それにより、参加者の気持ちを引き付けたり、空気を変えることができる。
- ・歌や動きを使って「導入」を作っていく。

【手話による安全教育について】

- ・安全教室の時には信号パネルを使うなど、視覚に訴える。
- ・手話の練習
こんにちは、こんばんは、おはようございます、ありがとう、拍手など、挨拶だけでも手話を使うことによって親近感を持たれる。

【着ぐるみを使つての安全教育について】

- ・着ぐるみの利点として、幼児から高齢者、幅広い世代に有効的に安全教室が可能となる。
- ・着ぐるみを着る際は動きやすいジャージ等を着用し、清潔に保つため、綿のような物を被る。
- ・着ぐるみは中に入っている人間が実際に喋っているため、会場の様子に合わせた会話が可能。
- ・着ぐるみを着るポイントとしては、着ぐるみの性格を決め、その着ぐるみになりきって声を出す。
- ・着ぐるみは視界が悪くなるので、近くの子供にケガをさせないように、職員等もう1名が近くにいるようにする。可能であれば事前に会場を下見しておくといふ。

【ピーポくんの体操レクチャー】

- ピーポくんによる体操のレクチャー。体操を入れることで講習にメリハリが付く。

会場全体で一緒に音楽に合わせて体操を実施。

お年寄りでも難なくできる大きな動きが中心。気持ち、体をほぐす効果がある。

12月9日(水)9:30~10:15

事例発表 三澤 陽子、大工原 真史(長野県)



【発表内容】

安価で使いやすい機材の開発

・手持ちの歩行者用信号機

—これまでは本物に近いものがなかった。

・シートベルト装着再現機

—車にクマを乗せ、シートベルトを着けているときと着けていない時に前の壁にぶつかるとうなるかを実験。子供の印象に強く残る。

・模擬縁石

—縁石に座ったり歩いたりすると危ないという教育。頑丈な段ボール製なため、軽くて収納も楽。

・交差点信号教育盤

—ボタンでいろいろなパターンの信号を点灯。交差点での事故事例を説明。

交通安全教育のポイントをまとめたものを小中高に配布し、DVDの制作などもしている。交通安全教育が日常的に行われるような活動に力を入れ、思いやりの心をはぐくむ教育を行っている。

事例発表 金庭 摩梨、加藤 真知子(北海道)

【発表内容】

「守ってあげる教育」から、「自分で自分の身を守れるように」という教育へ。飽きさせない、興味関心、お楽しみを取り入れる教室にしている。



①幼児におけるお楽しみくルールを学ぶ>

- ・毎年、毎回内容を変えて教室を開く。

<立って座って赤青黄色ゲーム>

色ごとに3チームに分かれて、旗揚げゲームの要領でゲームを行い、ルールを学ぶ。

②小中高のお楽しみく安全確認の難しさを実感する>

- ・あくまでも授業の一環なので、お楽しみに割く時間は短くする。
- ・同じ人が同じところで同じ教材を使わない

<風船ゲーム>

1～30までの番号が書かれた風船を30秒でいくつまで数えられるか。30秒経った後に、同じ画面で動物がいたことや風船の色が途中で変わっていたことなどを通して、正しく見る、正しく安全確認をするむずかしさを実感させる。

③高齢者におけるお楽しみくルールを再確認、頭と体のトレーニング>

- ・ルールを再確認する
- ・認知力・判断力を高め、維持する
- ・操作の力を身につける

<童謡追いかけっこ>

浦島太郎とうさぎとかめの歌を交互に歌う。歌詞を見て(認知)、自分がいつ歌うか(判断)、歌う(操作)が全て同時にトレーニングできる。

事例発表 佐藤 章六(埼玉県)



【発表内容】

- ・子供達が横断歩道を安全に渡れるよう、バイパス道路を通る大型トラックなどに笛で注意。
- ・立っている姿が歩行者を守る活動にもなる。
- ・小学校での交通安全教室では実験コーナーを行い、衝突を再現して子供に飛び出し事故の怖さを学んでもらう。

<実験>

模擬信号機、横断歩道を設置し、4人一組で仮設道路を作り、自転車が通れるかを検証。

- ・中学校ではDVDでの教育や、ヘルメットを被っているか、イヤホンをつけていないか、加害者になるとどうなるかという事を教育。
- ・警察と連携して高齢者への指導を行っている。瞬時に判断をして、その場面に応じた指導をしている。声掛け運動を積極的に行っており、ワンポイントアドバイスを加えると良い。高齢者の方にはお願い口調で指導をしている。

講義「発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について」
山口 直範(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科准教授)

配付資料:「発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について」



本講義の目標:

子供の交通行動を理解し、子供が自ら学ぶ能動的な交通教育の実施。

1.発達心理学とは ー子供の交通行動を理解するためにー

発達心理学とは、乳児期(胎児期を含む)から老年期まで、人間の生涯にわたる発達を扱う心理学であり、人間は人生を全うする最後まで発達を続けていくといった「生涯発達」の考え方を持っている。加齢とともに心も体も行動も変化していく過程のことを発達と呼んでいる。

発達段階:新生児期・乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期

2.子供はなぜ道路に飛び出すのか

子供の交通事故の要因で最も多いのは道路への飛び出し。

ーなぜ子供は飛び出してしまうのか？

(1)子供は見えていない

大人と比べて子供は未発達である。背が低い、腕力や脚力が弱い、知的能力が未熟ということに加え、見えている範囲が違う。

- ・生後6カ月未満:視力は0.01程度。眼前25~30cmあたりしか見えていない。
- ・生後6カ月以降:ピント調整が可能。物に対する識別能力が高まる。

5~6歳の幼児と大人の見えている範囲の違い

幼児と大人の視野の比較

	幼児	大人
水平方向(横)	90度	150~160度
垂直方向(縦)	70度	120度

横断歩道を渡る前に左右確認をする目的は、車が来ていないかを見るためだということを教えないければ意味がない。運転手とアイコンタクトをしてから渡ることや、子供に横断歩道の左右確認を任せることも有効な手段である。

(2) まだ他者理解ができていない

発達心理学者のピアジェは「自己中心性」という幼児期独特の物事のとらえ方を提唱している。自己中心性とは、身の回りのできごとを自分に引きつけて考えてしまうため、相手の立場から物事を見ることができないということ。やがては相手の立場で物事を考えることができる「心の理論」の獲得へと移行していく。心の理論の獲得とは、他者の心を推察したり、理解したりできることであり、これらの経験により、やがては自分はその場でどうすべきかといった社会的役割の取得へと発達していく。

歩行者又は自転車としての交通参加経験しか持たない幼児が、車の挙動やドライバーの心理を理解できるわけではない。幼児に相手の気持ちを考えさせるというような理不尽な要求をするよりも、大人が幼児の行動特性を理解することで、大切な子供の命は守られる。

(3) 子供は感情コントロールが苦手

就学した子供の多くは、自分の感情をコントロールすること、すなわち「情動発達」が未熟。

例) 公園でボール遊びをしている児童A君がいる。A君は自分に向かって投げられたボールを受け損なったため、ボールは転々として公園の出入り口から道路へと出て行き、A君は、一目散に道路に転がるボールに向かって走り出す。

大人ならばあわてることなく、安全確認をして道路に転がっているボールを拾いに行くが、A君が一目散に道路に出て行ってしまったのは、情動の影響だと考えられる。自分のミスが原因でボールが外に出てしまったことによる罪悪感、あるいは楽しい遊びの場に早く戻りたいという焦りなどが考えられる。

公園の脇からボールが転がってきたら、次に子供が飛び出してくるかもしれないから注意しなければならぬという場面は、交通安全教育でよく使われるが、意味もわからずに注意を促すのではなく、児童の行動の背景に何があり、どのような特性を持っているのかを理解して伝えることは、交通安全にかかわるものとしてとても重要である。

また、乳児や幼児は養育者のことを避難場所、安全基地として認識をしているため、「危ない！」と声をかけると危険を察知したので避難場所に行かなければと、返って飛び出して来ってしまう場合がある。そのようなときには「止まれ！」「ストップ！」といった具体的に行動を指示する言葉をかけるよう大人が気をつけなければならない。

3.子供の命を守り続けるために

(1)目先の安全にとらわれない本当の交通教育とは

ドライバーは運転中、危険が顕在化し、目前に迫る前に危険を予測して、対応しなければならない。子供の交通行動の場合も同じであるが、養育者が子供を交通事故から守ろうとする気持ちが強すぎ、危険から遠ざけるばかりの教育になってしまっていると、何が危険でどうすればいいのかを学ぶ機会を奪ってしまうことになるため、子供に危険を考えさせる領域を残しておかねばならない。大人と一緒にいるときに危険が潜んでいるところに散歩へ出かけ、危険感受性を養い、子供が自ら学ぶ機会を作る。

(2)子供が自ら学ぶ能動的な交通教育

勉強と学習の違い。勉強の語源をたどれば、勉めることを強いるという強制的な意味があり、それに対して学習とは、自ら学び、人に習うと書く。その言葉には、やらされているのではなく、能動的な意味を感じる。

子供にとって、交通安全教育は自ら学び、人の行動から習う学習であり、「安全確認しなさい」「気をつけなさい」と他者からやらされている勉強ではない。

子供は心の動きに強く支配されている。他者にやらされている行動は、監視の目が届かなくなればサボりがちになるが、大人は子供よりも先に人生を終えるため、有効な交通安全教育を実践することは、自分がいなくなっても、子供達の生涯にわたる命を守り続けることができる教育である。

==== 質問・要望・感想 =====

【質問】

登下校のときしか歩道橋を使わないのですが、子供が自分で安全確認してもらうように下の信号も渡らせたいと先生に伝えたのですが反対されました。先生にどのように言えばいいでしょうか。

【回答】

登下校時以外は歩道橋を使っていないため、下の信号を横断する練習をさせたいということですね。具体的な環境がわかりませんが、信号を守って横断することを習慣化するのであれば、通学路にある他の信号でも練習可能です。その場所でなければいけない事情があるようでしたらPTAの方に必要性をご理解いただき、一緒に提案することも方法かと思います。

また、いくら信号機が設置されている横断歩道とはいえ、歩道橋に較べると子供達が交通事故に遭うリスクは高くなります。学校教員が事故リスクを回避するため、通学路に歩道橋を推奨することは決して良くないことはありません。通学時に信号のある道を渡るのではなく、安全教育の一環としてクラス単位で横断練習を取り入れてもらうようお願いするのもいいかもしれませんよ。ご参考までに。

【感想】

- ・大変ありがとうございました。目先の安全のみを考えていたようで反省し、これからの考え方、指導に生かしていきたいと思います。目からうろこでした。
- ・子供心理や観点をすごく分かりやすく説明して頂きまして勉強になりました。なるほどと思うことが多くて先生の話が聞けて良かったです。
- ・発達に応じた交通心理学を学べて大変いい機会でした。幼児に対しての交通安全教育の中で目先の教育にとられない具体的な言葉かけや動作などまた教えていただきたいです。ありがとうございました。
- ・自分がいなくなっても子供達の生涯にわたる命を守り続けることができる教育について、もう少し詳しく聞きたいと思いました。
- ・とてもおもしろく、わかりやすい講義でした。頭ではわかっている、つい上から目線の指導になりがちです。子供達の行動特性を理解し今後の指導に役立てたいと思います。
- ・今回、本当に貴重なお話を頂き、ありがとうございました！学んだことを、これからは活用させて頂き、よりよい交通教室を実施したいと思いました。
- ・大変勉強になりました。
- ・関西弁はとても伝わりやすく心地よかったので最終研修にはよかった。子供のことが分かっているようで分かっていた部分がよく理解できました。
- ・とても有意義な講座でした。子供自身が自分一人でも命を守れるような指導をしています。なかなかボランティアの方にこの気持ちをうまく伝えられずにいましたが、「大切だからこそ」「子供の命より大切なものはない」ことを伝えたいと思います。ありがとうございました。
- ・自分の子供が小さかった時はどうしていただろうと反省しながらお話を聞かせてもらいました。自分の子供はもう大きいですが指導員としては小学生に先生のお話を参考にさせてもらいながら日々励みたいと思います。ありがとうございました。
- ・発達心理学と聞くところ堅苦しいイメージがありましたが、具体例も交えながら話して下さり大変興味深い講義でした。幼児の行動を少し理解できたので今後の教育を見直すよききっかけになりました。ありがとうございました。

閉講式・主催者挨拶

福田 由貴(内閣府交通安全対策担当参事官)



- ・本年の交通事故状況について、11月末現在の速報値では発生件数、負傷者数は対前年比マイナスであるが、死者数は対前年比+2となっている。
- ・死者数の半数以上を高齢者が占め、また、登下校中の子供の事故や飲酒運転による交通事故が後を絶たず交通事故情勢はいまだ厳しい状況にある。
- ・更なる交通安全対策の推進に向け、平成28年度を初年度とする第10次交通安全基本計画について検討を進めている。
- ・最も大切なことは、国民一人一人が、交通社会のルールやマナーを理解し、交通事故を起こさないための安全な行動を身に付けることや思いやりを持った「人優先」の交通社会を実現すること。
- ・本講座での成果を各々の地域の交通安全指導の場において大いに活用していただきたい。

最後に、受講者を代表して、北海道・金庭様に修了証が授与され、閉講した。

閉講式・挨拶全文

ただいまご紹介いただきました内閣府交通安全対策担当参事官の福田でございます。平成27年度交通安全指導者養成講座の閉講に当たり、一言ご挨拶申し上げます。まずは、3日間にわたる講座を真剣かつ熱心に受講していただき、皆様、大変お疲れ様でした。

子供や高齢者への交通安全教育や実技に関する各講師のお話、あるいは各地域における交通安全教育で活躍されている皆さんの創意工夫を凝らした効果的な事例発表など、限られた時間の中でのプログラムであったと思いますが、基礎的理論や実践的手法に関する知識・技能を身に着けることはできましたでしょうか。

さて、本年の交通事故状況につきましては、11月末現在の速報値では、発生件数、負傷者数は対前年比マイナスであります。死者数は対前年比+2となっております。死者数の半数以上を高齢者が占め、また、登下校中の子供の事故や飲酒運転による交通事故が後を絶たないなど、交通事故情勢はいまだ厳しい状況にあります。

こうした状況に対処するためには、交通事故情勢を的確に把握し、次代を担う子供や交通事故死者数の半数以上を占める高齢者の交通事故防止対策、あるいは自転車の安全利用の促進等、交通ボランティアの皆様を始めとする官民一体となった取組を引き続き強力に推進していく必要があります。

また、現在、更なる交通安全対策の推進に向けて、平成28年度を初年度とする第10次交通安全基本計画について検討を進めておりますので、その推進に当たっては、皆様方の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

しかし、最も大切なことは、国民一人一人が、交通社会のルールやマナーを理解し、交通事故を起こさないための安全な行動を身に付けることであり、また、自分の安全のみならず他の人々の安全にも配慮し、思いやりを持った「人優先」の交通社会を実現することではないかと考えております。

皆様の取り組んでおられる交通安全教育は、必ずしもその効果がすぐに現れるものではなく、地道に継続的に実施することが重要であります。今後更なる交通事故の減少のためには、本講座を受講された皆様方の役割は非常に大きなものがあり、私どもといたしましても、今後の皆様のご活躍を大いに期待申し上げる次第であります。

最後になりますが、本講座での成果を各々の地域の交通安全指導の場におきまして大いに活用していただき、引き続き、交通安全教育や街頭活動へのご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、今後の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

4. アンケート集計結果

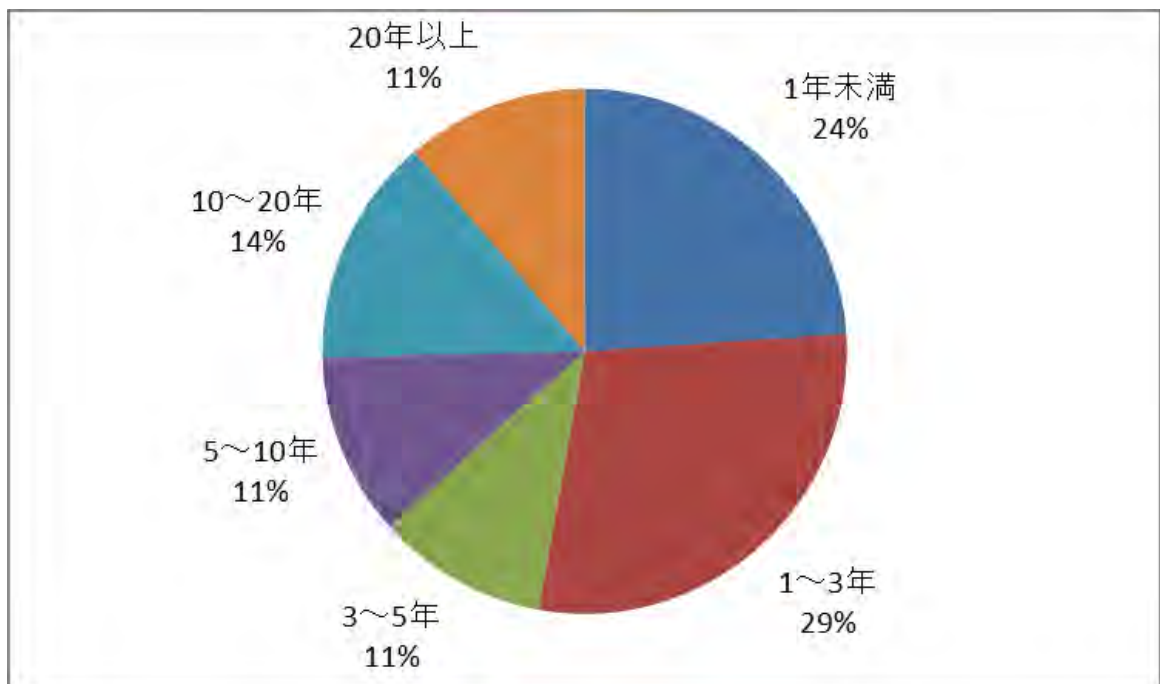
平成 27 年度交通安全指導者養成講座:アンケート結果

回答数 142 件

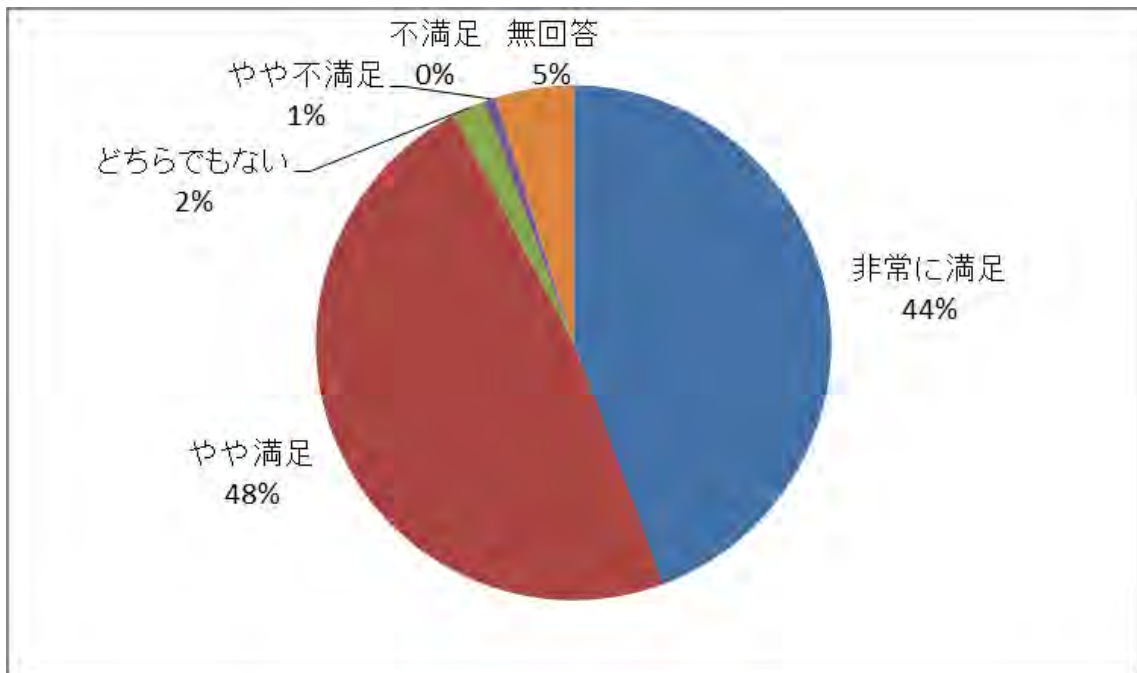
1. 現在のご職業の在職期間は？



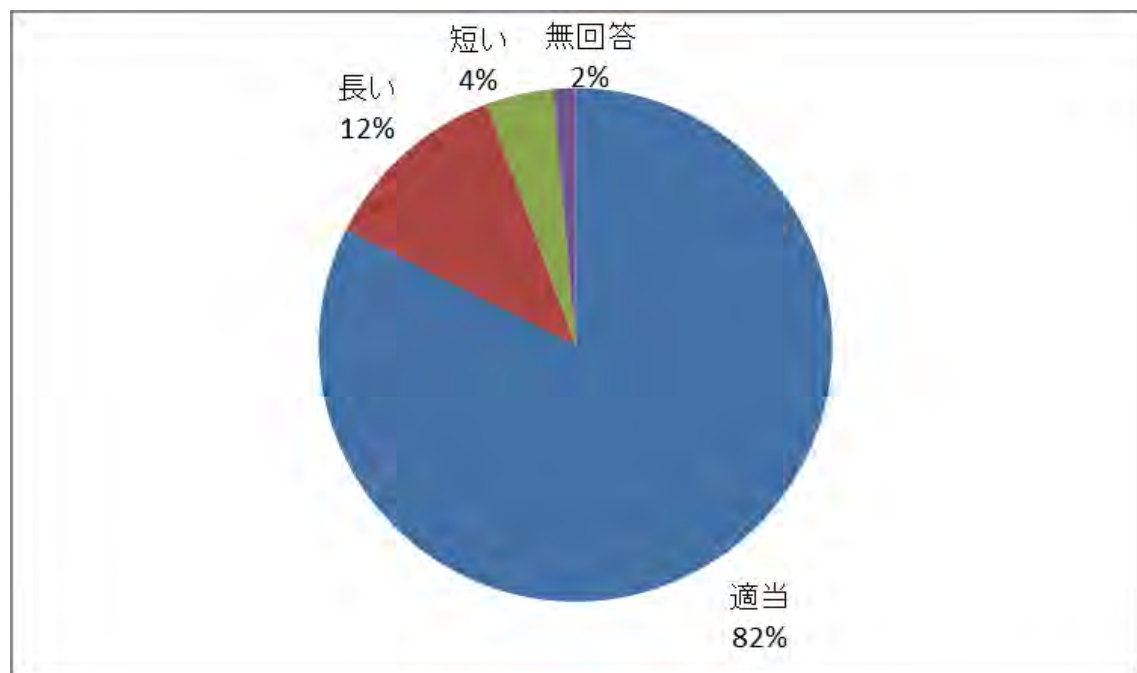
2. 交通安全業務の経験期間は？



3. 3日間の講座内容は？



4. 本講座の開催期間:3日間という日程は？



長い

→長いと回答された方、適当と思う日数は？

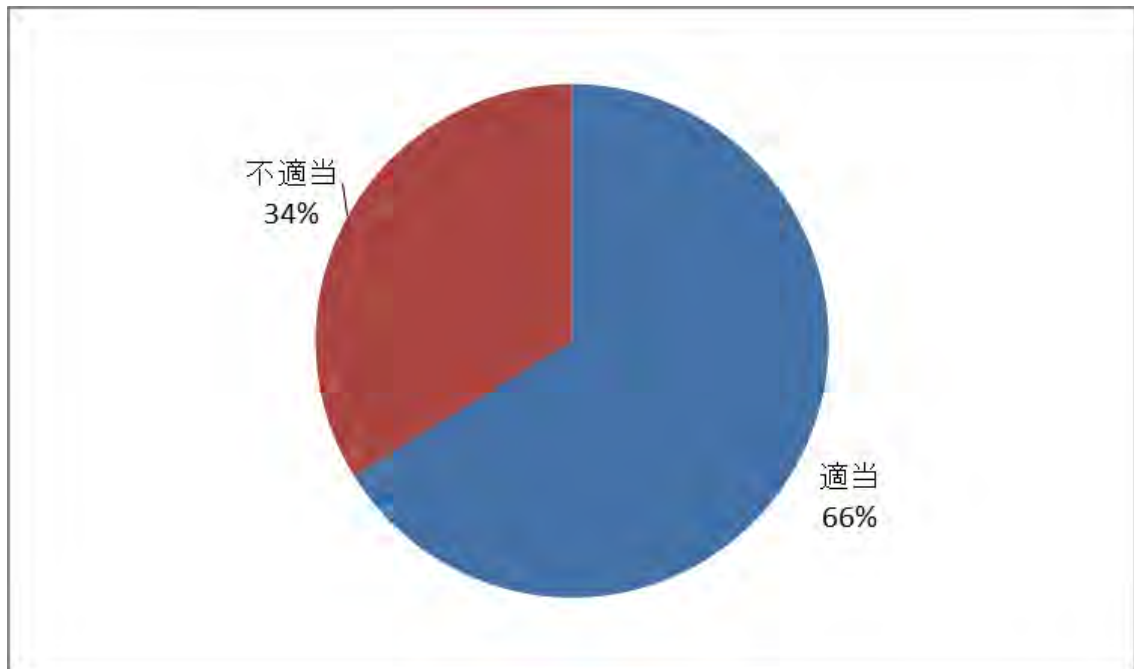
1日間	0名
2日間	15名

短い

→短いと回答された方、適当と思う日数は？

4日間	5名
5日間	2名

5. 本講座の開催時期:12月初旬という日程は？



適当

- ・異動があつてからなるべく早い段階で講座があると早くから学ぶことやそれを実践することができるのではないかと思います。
- ・安全教室等の予定はほぼ11月末なので、仕事に支障なく研修に参加できました。
- ・年末の安全運動前で行事も落ち着いているため。
- ・年末の交通安全運動前(期間 12/15~12/24)で少々キツイですが、その他の月よりは良いと思います。
- ・年末ではあるが、他の時期だと交通安全運動等イベントと重なってしまう方もいらっしゃると思うので。
- ・特に繁忙期ではない。
- ・教室が少ない時期なので職場を離れやすい。
- ・この時期で特に問題なかったから。
- ・比較的、他の時期は忙しいので。
- ・雪や寒さの心配が、年明けに比べると少ないから。スケジュールにも余裕が出てくる時期だから。(教室開催が落ち着いてくるので)

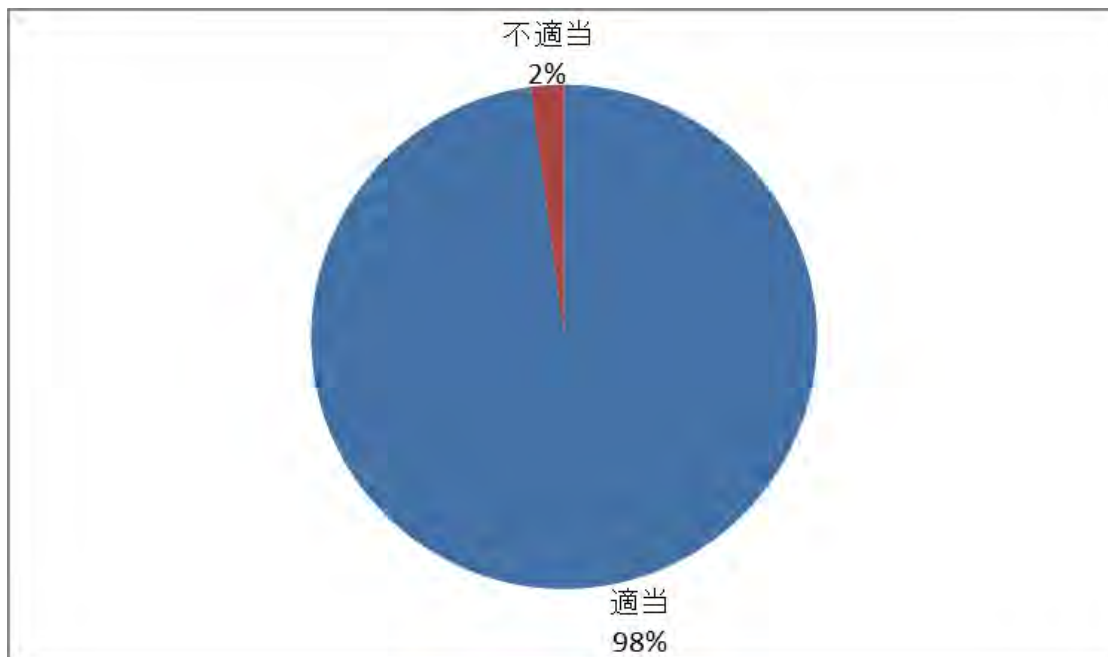
- ・教室開催数が少ない月なので。
- ・議会運営やイベント等が一段落し動きがとりやすいため。
- ・春秋より安全教室の数が少ないため。
- ・12月の前半は行事が少ないので、参加しやすいのでは。
- ・雪が降る前で移動が助かります。12月より前だと4月から今の仕事を始めた者としては分からないことだらけで戸惑うので今の時期が適当でした。
- ・一番忙しい時期が過ぎてちょうど良い。
- ・指導者の忙しさが落ち着く時期である為。
- ・年間業務内容を総括検証できる時期。
- ・時期はいつであれ早くに日程が出たので良かった。
- ・教室がちょうど落ち着くつきだから。
- ・他の時期だと仕事が忙しい為。
- ・そこまで寒くなく過ごしやすい季節だから。
- ・交通安全教室が多くない時期でよい。
- ・青森県では、りんご、米も終わり今の開催が適当だと思います。
- ・11月まで多忙なので、12月でよい。
- ・比較的 行事が少ない時期だから。
- ・交通安全運動の間で、あまり忙しくなく、参加しやすい。
- ・4～12月の本当の初めまでは行事やイベント教室などが続いていたので、1～3月は東北は天候が荒れやすく降雪などで交通が止まることもあるので
- ・今年度の教室がある程度終わっているから。県の年末の事故防止運動と重なっているがあまり影響はない。

不適當

- ・年末の忙しい時期となってくるので。
- ・12月は年末の交通安全指導をしていることが多く時間が取りにくい。
- ・年末に向けて大変忙しい時期に 3日間も拘束されるのはきびしいと思う。朝の立哨のない時に行ってほしい。立哨をお休みしてまで参加したくないです。あとは時間をずらして欲しいです。
- ・12月は何とか忙しい為。
- ・12月は何かと有り限るから。
- ・師走で色々忙しいので、できれば開催時期を変更して頂きたいです。シルバーウィークに仕事をされている方もお休みだから良いのではないのでしょうか。
- ・兵庫県では「年末の交通事故防止運動」が12月初旬にある。
- ・着替が冬物なので、荷物がかさばる。
- ・年末の事故防止運動(12/1～10)中(兵庫県)及びもう少し早い時期の方がよい。
- ・当県では年末の交通安全運動期間中なので活動に支障が少しあります。
- ・幼児の冬の教室とかぶる、宿泊施設の確保、遠方の方たちが冬で強風のため交通遅延が起き

- る。夏休み期間は学業等の施設訪問が減るので比較的良いかも。
- ・市町村の予算特別委員会があるため、業務に支障が出ることもあるため。
 - ・12月は年末に向けての業務など、通常業務が多いため、資料作成等の準備が困難なので。
 - ・年末だから！
 - ・少し気候の良い時が良いのでは。コート等に荷物も増えますし…
 - ・服装がかさばる。あわただしく気持ちがおちつかない。
 - ・荷物が多くなるため。
 - ・12月は公私に忙しい。
 - ・青森は雪で、留守にするのがつらい。
 - ・今の時期は冬の交通安全運動のため。
 - ・年度の12月は出席が厳しい。
 - ・年末よりももう少し早い時期が適当ではないでしょうか。
 - ・年末で忙しいから。
 - ・子供の受験とかでちょっとバタバタな時期だったから。
 - ・いそがしい時期だから。
 - ・北国から来ると寒く、雪の心配もあるから。
 - ・インフルエンザが流行る時期。
 - ・不適とは思わないですが、私の地域からだとも10月ころが適当かと思います。
 - ・天候に恵まれれば良かったですが、雪とかの関係で交通機関の問題がありますので、12月ではできれば考えて頂ければと思いました。
 - ・交通指導員の方が多く参加している学校が休みの期間がベストと思われる。
 - ・日本海側は雪しだいで来れなくなる事がある。
 - ・年度の初めや終わりは適当でないと思う。
 - ・年末の各種行事が多い時期であり。
 - ・年末の時期は忙しいから。
 - ・12月は忙しい。9月か6月が良い。
 - ・師走の時期を避ければ仕事のある人も参加し易くなるのでは。
 - ・防寒具が荷物でかさばります。加えて月～水→水～金の開催であれば最終日の次が休日で助かります。
 - ・冬の運動期間中だから、雪が心配され、交通機関に不安がある。
 - ・12月は年末の冬の運動の準備第もありできれば重ねないでほしい。
 - ・自分に子供が居るのですが、学校の事や、家をあけるのに、火の元の心配がある為。(1番下が小学生でもある為)
 - ・毎日立哨している立場からできれば夏休み等を実施して欲しい。
 - ・夏休みなど幼児・自動の休みに合わせて頂けるとありがたいと感じるから。
 - ・交通安全教室が入っている時期であるため。
 - ・天候により交通機関運休等の心配があるのでもう少し早い時期にしてほしい。

6. 本講座の開催場所:東京・四ツ谷駅前という場所は？



适当

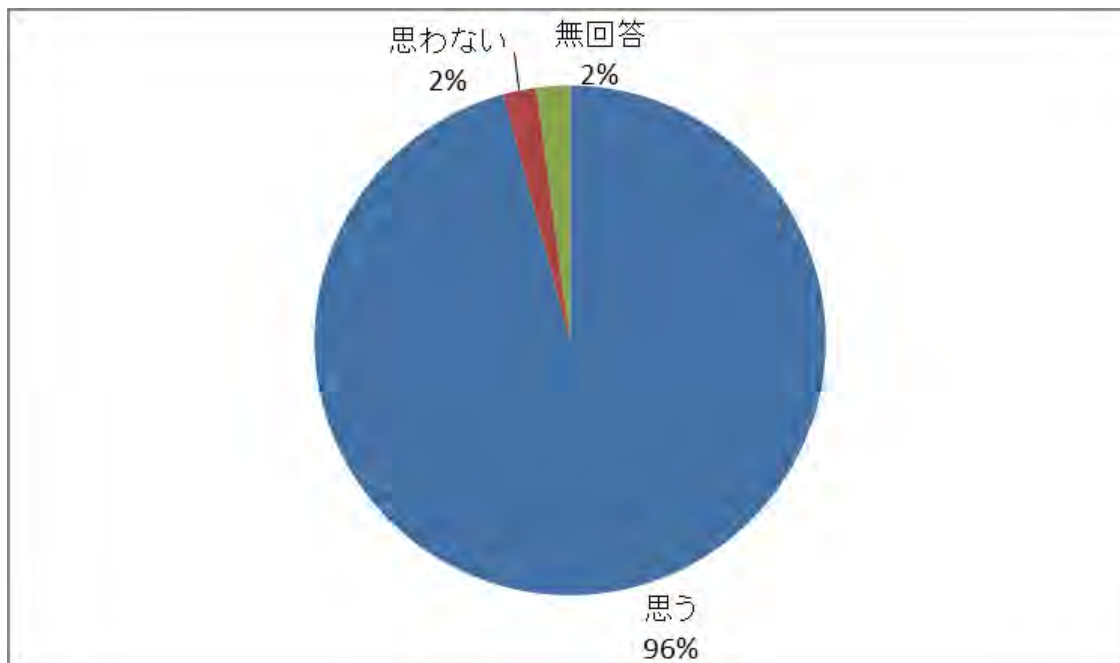
- ・東京駅からJRで1本で来れ、四ツ谷駅もJRと東京メトロと便がいいから。
- ・会場が駅前という立地条件はいいと思います。
- ・私のような地方から来させて頂く者にとっても、分かりやすい場所でありがたかったです。
- ・初めて参加者にとっては大変ありがたいです。
- ・電車での便が良い。
- ・分かりやすい。
- ・東京駅から近いため。
- ・他に良い場所は知りませんので。
- ・東京に不慣れな私でも、迷わず来られました。
- ・駅前なのはとても良いと思う。
- ・交通面でも适当であると感じました。
- ・特にわかりにくくなかった。
- ・移動に特に支障がないため。
- ・列車等の接続が良い。
- ・わかりやすかった。
- ・交通の便が良く、初めて来ても分かりやすい。
- ・駅前で便利な場所で、わかりやすかった。
- ・遠方からも最終駅がわかりやすく、また駅から会場が近く宿泊所あるので良い。
- ・交通の便が良い。
- ・東京駅から近く、全国から集まりやすいと思う。

- ・全国の中心である関東、また東京が交通の便も良い。
- ・移動、宿泊、飲食に便利。
- ・通しやすい。
- ・東京駅から近くて分かりやすいので助かりました。
- ・とてもいい場所だと思います。
- ・場所的に東京駅付近で乗換えがなくて良い。
- ・全国から参加されますので、とてもわかりやすい場所で助かりました。
- ・駅前直近であること。
- ・東京駅より遠くない。ただ、西の方々にとっては東京自体が遠いのでは。
- ・初参加で場所が分からず不安でしたが、駅の前ですぐにわかりました。
- ・便利で分かりやすい。
- ・全国から参加するので、交通事情を考えると東京が適当。会場も駅のすぐ近くで良かった。
- ・東京駅から近い。
- ・東京の土地勘がよく分からないため適当ではないかと思う。
- ・駅前でわかりやすかった。
- ・分かりやすかった。
- ・新宿まで電車で来てすぐなので。
- ・東京駅からも来やすく、駅前は分かりやすくて良い。
- ・中心都市なので。
- ・分かりやすかった。
- ・駅に近くてわかりやすい場所で大変助かりました。
- ・駅から近い。
- ・駅のすぐ前で分かりやすい。東京駅からアクセスしやすい。
- ・迷うことなく会場に辿りつけたから。

不適當

- ・秋葉原。
- ・駅を降りてすぐの場所で良いが、アクセスが少し悪いかと思います。
- ・東京駅から遠くない。

7. 本講座で受講した内容を今後活用したいと思いますか？



思う

- ・話し方等、今後安全教育をしていくうえで活用していきたい。
- ・「交通安全指導にあける効果的な話し方」で学んだ、相手の心を開かせるような楽しい交通安全室をしていきたい。
- ・着ぐるみの動き方を、着ぐるみにいった時に活用したい。(マスコットキャラクターの着ぐるみがあるため)
- ・全国各地の特色のある交通安全指導も参考にして、取り入れていきたいと思います。
- ・交通安全教室、交通指導員研修会時。
- ・話す時の視点や話し方に気を付けていきたいと思う。
- ・一般、高齢者については効果的な手法を学べたことから、まずは職場の人で試験的に正しい実践に移したいと思う。
- ・話し方の講義等は、今後安全教室にも生かせると思った。
- ・丁度、いま幼保向けの交通教室で紙芝居をしているので読み方が参考になった。今後、話し方も参考にして興味を持ってもらえたら良いなと思います。
- ・自分が実際に人前で講話等を行う時に、今回学んだことを少しでも活かせればと思います。
- ・話し方、紙芝居等、自分なりにできる範囲で現場の教育でやってみようと思う。
- ・注意する時の私の態度。
- ・導入の仕方や、体操などを取り入れたリフレッシュの仕方などを教わったので、実践してみたいと思いました。
- ・歌など、安全教室に取り入れたい。
- ・安全教室等だけでなく、高齢者に対しての接し方や進め方はとても良い。

- ・交通安全は知ってもらいたい事は大きく変わらないので、受講して下さる相手に合わせた手法が必要なので、今回自分が受講したモノを新たな1つの手法として活用して行きたい。高齢者は特に楽しく興味を持ってくれそうなプログラムでした。
- ・お話の進め方を活用させていただきたく思います。
- ・機会を見つけ(つくり)、皆様(いろいろな方)と今一度「交通安全」を見つめなおしてみたい。
- ・話し方は参考になります。
- ・長時間、話す仕事なので、話し方のスキルアップに役立てたいと思いました。
- ・効果的な教材作り。
- ・今後の指導。
- ・後輩、新人への伝達。
- ・講話、グループ討議、実践発表と持ち帰り、すぐ使えるような内容がたくさんありました。全部とはいきませんが、自分の地域で使えるものを使おうと思っています。
- ・話し方については、もっと考えて口に出していきたいと思いました。また、警視庁の方々が紹介して下さった導入も交通安全教育に取り入れていきたいと思っています。
- ・指導員の研究大会でも「効果的な指導の仕方・話し方」が研究課題にあがっています。ぜひ皆さんにお伝えしたいと思います。
- ・自分自身の話し方と中学生との接触時に活用。
- ・教室を開くにあたって、どのような声掛け表情をすれば良いかが勉強になりました。
- ・他の交通安全指導員の方々に、今回の研修を伝え、各小学校での指導方法に役立てたいと思います。
- ・警察の方の指導等、どのようにすればより多くの受講者に関心を持ってもらえるか勉強になったため、今後活かしていきたい。
- ・「視覚に訴える」、「ルールの話をする時は具体的な事故例の話をする」「根気強く続ける」、睡眠の重要性等、たくさんのヒントを頂いたので、今後自分の中でアウトプットできるようにしていきたいと思っています。
- ・紙芝居を活用した指導を取り入れることも考える必要性を感じた。高齢者事故の防止に「いきいき運動講座」の取り組みを検討したい。
- ・職場に持ち帰り、復命書を作成するだけでなく、指導員会議において学んだことを発表し、現場の指導員に還元させたい。
- ・話し方など実際に気にかけてことがない細部のことも知ることができた。また、年代別の教室、各自治体での取り組みを知ることができた。
- ・県で開催する指導者講習会において、紹介しようと考えています。
- ・講話を行う時の声かけや目配り、気配りの仕方がよくわかったので、活用したい。
- ・指導隊の方々との街頭監視での住民との会話。日々の苦情処理の対応。
- ・話し方など、大変参考になった。
- ・いきいき運動講座を行いたい。
- ・対象者に合った言葉の使い方をしたいと思います。新しい教材を作成し、より分かりやすいもの

を目指したいです。

- ・共通教室だけではなく高齢者の交通教室にもかかわって行きたい。
- ・特に山口先生の講座をもとに、幼児の保護者の方へ、大切な子供の命を守るためにはどのようなにしたらいいかの教材に使わせて頂こうと思った。
- ・交通講話に生かしていきたい。
- ・交通安全講話をより効果的に興味を持っていただけるようにする。
- ・交通安全指導に活用したい。
- ・幼児、高齢者に対しても、しっかり伝える、伝え方を考える。理解してもらわないと意味がないということをお頭において指導をしていこうと思います。
- ・特に傾聴術は参考になった。交通安全教室で活用したい。また、グループ討議や事例発表で得た情報を市に持ち帰って、今後の活用に活用したい。
- ・話し方は今後とても必要な事。すごく参考になり持ち帰って職場で共有したい。心理学も職場で共有したい。しなければならない内容。
- ・子供達への話し方、対応で心からの声かけが重要とのことであったこと。
- ・大人への交通安全意識の向上が必要な点。
- ・意見交換の場で聞いた、子供達に教える際の注意点や方法など。
- ・街頭指導での子供達への接し方や話し方。
- ・交通安全教室を実施する際、本講座で学んだことを子供達に教えていきたい。
- ・話し方、言葉の使い方を配慮。
- ・ディスカッション形式の取り入れ。
- ・藤原先生の講演の中で、一方的に話すのではなく、相手に話させる事が必要との事、今後努力目標にしたい。また、「思考整理術」をマスターし、土台作りにしたいと思った。長野県、函館市の事例発表、大変参考になりました。
- ・高齢者安全教室の導入で他地区が実践している手法を活用したい。
- ・白バイ隊の方の手話、ピーポくん体操で体を動かす。
- ・実際に指導の現場で話し方や引きつけ方など活用していきたいです。
- ・自信の地域の教室がマンネリ化してきた時に、今回の研修で得た事を思い出して、加えて変化を出していきたい。(話し方講座、討論で知った事、など)
- ・高齢者に対する「いきいき運転講座」がとても高齢者の興味をひき、気づきにつながると思い、活用していきたい。
- ・基本の事であるから。
- ・教室があつたら、進んで教えていきたい。
- ・教室や新たな教材の作成に生かしたいと思っています。
- ・交通教室の場面で、話をする時等に生かしたい。
- ・導入で講習会参加の方々の気持ちを引きつけることから始めるということが理解できた。今までは漫然と行っていた。
- ・高齢者に対して、交通安全教室をするときに、今回得た知識を十分に活用していきたい。幼児に

対しては、話し方や紙芝居の講座で得たことを、さらに分かりやすく自分なりに工夫して活用していきたい。

- ・交通安全指導員研修に役立てたいと思います。
- ・実技に生かしたいと思います。
- ・くまゴロンの実験を参考にしたい。
- ・効果的な話し方を参考にし、より効果的に交通安全を伝えたい。紙芝居を高齢者にしようしてみたい。
- ・他県・市等で行われている指導手法を取り入れたいと思います。
- ・山口先生のお話はとても良かったです。子供達に有効な安全教育を考えていきたいです。
- ・自分の県内で今行っている物をすぐに変化させることは難しいと思いますが、自分が教室で話すちょっとした言葉や動作等はすぐに変えられると思うので、無理なく取り入れようと思いました。
- ・脳トレ。
- ・導入として手遊びを交通教室の中に入れたい。
- ・交通安全教室に内容をより充実させていきたい。
- ・安全教室や関係される方々との接し方や長続きする為に自分の考え方のもち方に活用もしたい。
- ・機会があれば実行委員に加わって一緒になって検討したい。
- ・地域の交通安全活動や交通安全教室で活用できたらと考えています。
- ・仕事が幼児・小学生が相手であり、活かしていきたい。
- ・幼児教育や高齢者に対しての話し方など活用したい。
- ・現場での交通安全指導に活用していきたい。
- ・子供の行動などを考えて、教材作成の構成を考えたい。
- ・他県の活動で参考になる事が多くあったので、自分達の活動にいかせるものはいかしていきたい。
- ・交通安全教室・登下校指導。
- ・今年 5 月から高齢者の交通安全教室担当になって数回担当の方の資料等で進めていましたが、沢山活用したい事があり、これからの教室で取り上げたいと思います。
- ・まずは他の指導員に報告をし、自分の地域に合わせた活用法を考えたいです。
- ・各講義で聞いた内容や、グループ討議で話しがあった事例を自分が行っている交通安全啓発活動に取り入れていきたい。
- ・未経験の部分が本講座を通じて学ぶことができる。またグループ討議式では非常に勉強になった。
- ・高齢者の教室でもっと楽しく関心をもってもらえるように。
- ・これまでなかった活動や体験が聞けたので、これからの行動の場が広がる可能性がある。
- ・全国各地の交通安全教室等の内容を知ることができた。良い点を今後の活動に活かしていく。
- ・高齢者向け交通安全教育において、導入に脳トレを行ったり、体を動かす活動として手遊び(金太郎の歌)やグーパー(うさぎとかめ)などを取り入れていきたい。高齢者の方が少しでも楽しく参

加できるようにしていきたい。

- ・相手を尊重する基本動作を学習し、語失後礼、視線、立ち位置など当たり前な事が日常の指導でできていない為、今後学習した事を活用したい。
- ・着ぐるみにマイクをつけることや、パワーポイント導入などを検討したい。
- ・話し方講座で学んだ事を交通安全教室で使っていきたいと思います。
- ・いきいき運転講座はさっそく教材を取り寄せたいと思う。
- ・交通安全教室に取り入れたい。
- ・指導者の一言は人の人生を左右する。認知されるところに人は集まる。
- ・他の指導員さんへ「効果的な話し方」について伝えたいと思います。
- ・講座で学んだことを婦人会全員に報告し(会とかで)勉強していきたいと思う。
- ・シニアクラブ等に活用したい。
- ・交通安全教室や街頭指導において、一定の計画性をもった対応をしたい。子供を対象に話をする場合は事前にイメージ作りをしたい。
- ・紙芝居の読み方を今後意識していきたい。
- ・話し方については教育の中だけでなく、職場や家庭にも通じるものがあると思いました。初めは慣れないと思うので、「傾聴」など意識して取り組もうと思います。
- ・話し方等もっと変化をつけながらやっていきたい。
- ・交通安全教室を行う上で話し方等気を付けていきたい。
- ・12月13日に会議の予定がありますから、皆様に話しを聞かせて、進めていきたいと思います。
- ・交通安全教室について様々な事例を聞いたので、実際に”目で見てわかる”教室づくりをしたいと思います。
- ・教室ではより効果的な話し方を行うよう心がけたい。
- ・話し方講座や、いきいき運転講座はすぐにでも取り入れられると思う。
- ・パワーポイントを使用した教育。
- ・紙芝居や、いきいき運転講座など、少しずつ活用できたらなと思います。
紙芝居は、声の出し方がすごく勉強になりました。話し方も教わったように使っていきたいです。
- ・話し方、伝え方を変えていきたい。他県の指導内容を参考にしていきたい。
- ・30年以上も交通指導をしていると、新しい内容があったのでそれを今後活用したいと思います。
- ・指導者の熱意が大切であると聞いた。第一印象で熱意があるように見えるといいということだった。
- ・市での交通安全の会で 今回の報告と共にキャンペーン等で活用したいと思います。
- ・話し方や相手との会話の仕方の部分で、藤原先生のお話のように相手に話させる / 相手から話を引き出す…この点に注意して、高齢者教室、幼児教室に取り入れていきたいと思います。
- ・話す時は周りに視線をふりながら 幼児言葉を使わない。
- ・離し下手なので、離し方がすごい参考になりました。
- ・幼児や小学生、高齢者の教室などで活用したい。
- ・講座等の実務面に話し方を生かしたい。

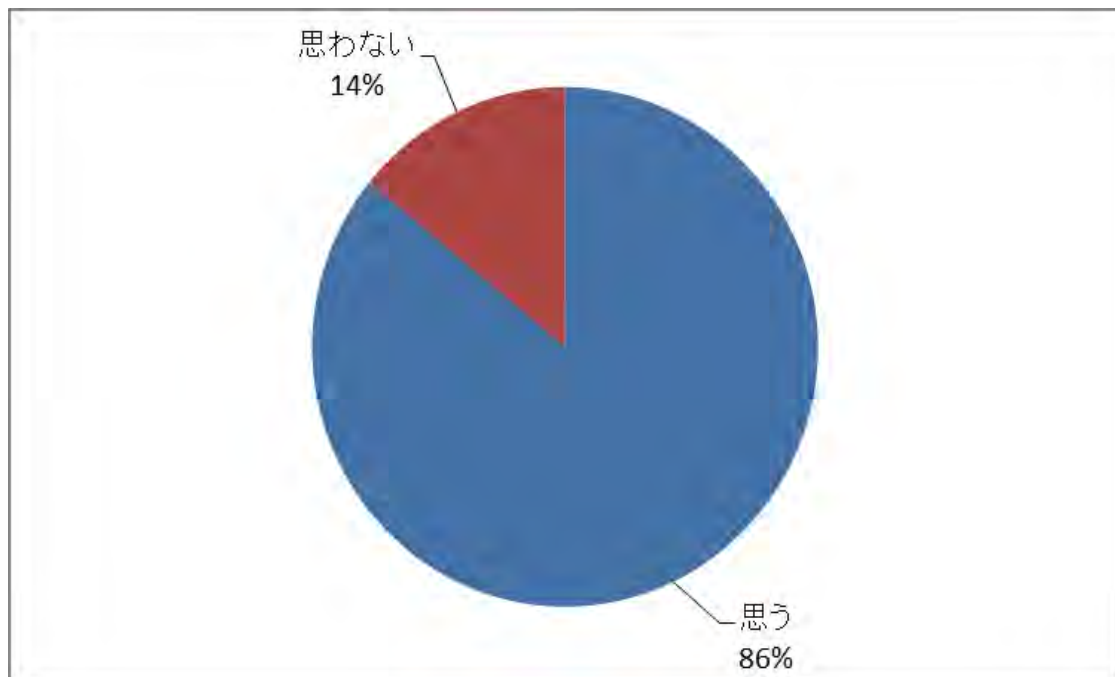
- ・グループ討議での各人の発言(実技等の方法)内容が参考になった。
- ・まず、今回教えていただいたこと、自分でもう一度勉強して、自分の指導の力を身につけ、理解してもらいやすく伝えることを覚えたいと思います。伝える相手のことも考えながら、押しつけでない教室にしていきたいです。また地区の指導員の方たちにも伝えられたら良いと思いました。
- ・交通教室を専門に行う組織がないので、その組織作りとタイアップ。
- ・効果的な話し方を活用しながら、要点をまとめて伝えたいことを分かりやすく、伝えていこうと思います。実際そのことでは課題だったので反省し改善していこうと思います。
- ・と思いますが、当市では指導員が交通安全教室など開催せず、警察担当官がすべて取り仕切り寸劇などを披露する活動をしていない。
- ・参加型の交通安全指導。
- ・幼児の交通安全教室のときに今回教えてもらった歌を活用させてもらいたい。
- ・山口先生の講義で「危険感受性」ということばを知った。
- ・子供達への声かけのしかたを考え直してみたい。
- ・交通安全教室での子供達への対応の仕方。
- ・実際に交通安全教室で実践していきたい。
- ・着ぐるみを使うときピーポくんを参考にさせて頂きたいです。話し方、目線。教室で話をする際活用させて頂きたいです。

思わない

→思わないと答えた方、その理由は？

活用する機会がない	3名
活用したいが方法手順がわからない	2名
活用するほどのものがない	0名
その他	0名

8. 機会があればまた、本講座を受講したいと思いますか？



思わない

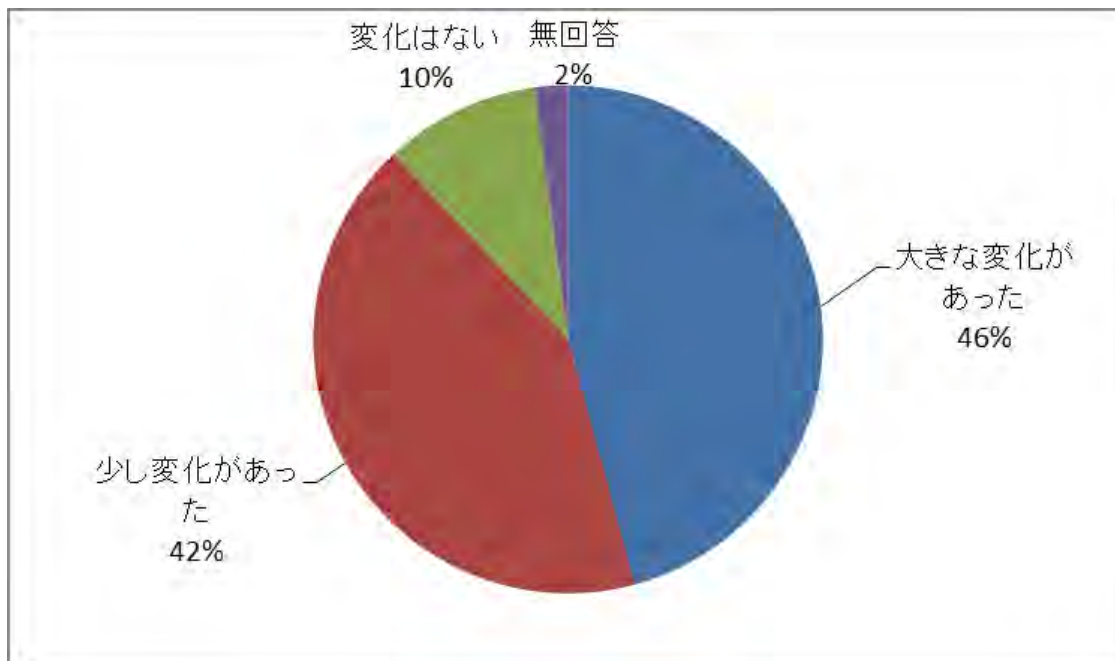
→思わないと答えた方、その理由は？

参加する機会がない	6名
参加するほどのものがない	0名
その他	6名

その他

- ・一度経験し、次にいかすから。
- ・長崎県の他地区の指導員にも受講してもらいたいですし、昨年とほぼ同内容だったので、変わらない限りは参加しなくてもいいかな、と思います。
- ・市指導員5区のため、多くの方へ受講させるため。
- ・できるだけ多くの方が参加すればよいと思う。
- ・内容を変更してほしい。
- ・担当者が入れかわって参加したい。
- ・一人でも多くの方に参加して頂きたい。
- ・皆さんあまり目新しい事をされているところが少なく、同じような事での悩みなどの為、進歩が少なく、解決に至らずただ「うちはこのようです…」で終わっているような気がしてなりません。
- ・違う方が受講した方がよいと思うから。

9. 本講座を受講して、意識に変化はありましたか？



具体的にどんな変化ですか？

- ・他府県の指導員の方の活動を知ることができ、また色々な意見を聞くことができた。
- ・私は行政の立場で仕事をしていたので、指導員の方たちから意見が聞けて、視野が広がりました。
- ・新しい刺激を受け、改めて交通安全指導員の重要性を感じました。
- ・指導者に求められる基本的事項等を再確認できた。話す力を身に付け、交通安全の大切さを伝えていきたいと思う。
- ・どちらの方も同じような悩みを抱えているんだな、交通安全に対する意識も共有でき、これからも交通安全と真剣に向き合っていこうと思えた。
- ・自分自身に取り組んでいたことだけでは相手に伝わらないことがわかった。もう少し手法を変え、相手にわかりやすく学んでもらうための取り組みが必要だと感じた。
- ・様々な方の手法を知ることができた。また、他の自治体によっては、交通指導の運用が違うと知ることができた。
- ・他県の指導員さんと交流することで、日頃の業務の問題点や思いを共感することができて、今後の励みになると思った。
- ・ただ交通安全教室等をするより、もっと楽しく心に残してもらえるようにしていきたい。発達心理学の観点からの考え方がとても参考になった。活用していきたいと思いました。
- ・全国から集まれた方達のエネルギーに圧倒され、自分の今後活動していく上で、背中を押されたように感じました。色々な方達のお話を聞いて大変参考になりました。
- ・交通安全の事故防止は、すぐに成果の出るものでもないが、日々の繰り返しで、事故防止を伝えていく事が大切なのだとあらためて感じました。

- ・笑顔で接する事。
- ・全国の方々が交通安全教室に非常に熱心に取り組んでおられるお姿を拝見し、良い刺激になりました。また、素晴らしい講座をお聞きすることができ、大変参考になりました。
- ・教室を行う時、こちらからだけ発言するのではなく、参加してもらうことの大切さを知った。
- ・全国の遠方と話し合いができ、取り組方などとても勉強になりました。指導のマンネリ化の改善などとても良かった。
- ・全国にいる同じ仕事をしている人の話を聞いたり、意見交換するのは仕事に対してのモチベーションが上がります。情報をたくさん得たことで明日からまた頑張れそうです。
- ・我が身の意識改革の必要性を痛感。毎年、毎日が自分の勉強不足と力不足により、効果的な安全確認(安全教室)がとぼしかったように覚え、再認識できました。
- ・本県だけではなく、各都道府県、同様の悩みをかかえている事が分かり安心？しました。
- ・自分のスキルに満足していないので、多いに活用したい。
- ・2回目の討論会で、ブレーキの使い方中心とした安全講話の大切さに改めて気付きました。ヘルメットの努力義務の考え方と幼児期からの交通教室の必要性を私達交通指導員が訴える。
- ・他の指導員の方の熱い想いや指導方法、感心することが多くとても参考になりました。また、初心に戻り頑張りたいと思います。
- ・普段の講話などで反省すべき点に気付けたから。話し方や手法など新たに知ったことを取り入れていきたい。
- ・若い方、女性の方が多く参加され、活躍されている事を嬉しく思いました。
- ・効果的な話し方。
- ・目的は一つであっても表現力や見る角度によって違った考え方があるのだなと思いました。
- ・子供達に、なぜ右を見て左を見て右を見るのか、それぞれの安全確認にはきちんと意味と理由があることを伝えようと思います。
- ・全国の交通指導員の状況を知ることができた。異動してきたばかりで自分のいる市の状況しか分からなかったのも、とてもよい刺激になった。
- ・交通安全教育の本筋、要旨に変化はないが、それに至るアプローチを数多く持つこと(持たせること)が教育の幅を広げることになる。具体的なやり方がよく理解できました。
- ・他の自治体の方の意見や仕事の状況を聞くのは良い刺激になったが、期間が短いのが良くない。
- ・自分の意識がまだまだと感じた。他人の意見を聞いたことで少しではあるが自信と参考にしていこうと思えた。
- ・たくさんの収穫があったので、今後の業務に生かせる。
- ・傾聴術、傾聴技法で「復唱する」の内容で丁寧に返した言葉が同じ言葉の方がいいということに気づかされた。この仕事について1年未満なので他所の指導員の方のすばらしい熱意と工夫を見ることができて成長できたと思います。
- ・他自治体の実状を知ることで、当市の地域のつながりの深さや、今後の課題を見つけることができた。

- ・話をする時、「伝える」「教える」でなく、「聞いていただく」の気持ちで、というのは忘れていた部分だったので…。
- ・交通指導員は、街頭指導が本業だと思っていましたが、受講により安全教育に力を入れたい。
- ・よりよい交通教室を目指したい、と思いました。
- ・全国の方達の取組み方を知る事ができました。多くの方達と話す事ができました。
- ・多くの方が交友安全に関わり、スキル向上や、指導方法改善などを話し合うことで、住んでいる場所は違うが目的は同じであり、全国で取り組んでいることを改めて知り、今後も仕事を頑張りたいと思った。
- ・話し方講座で教えていただいた事は今後生かしていきたいと思う。発達心理学の講座はとても参考になった。
- ・導入として体操をしてから脳を活性化して講話をはじめることができる。
- ・話し方について奥が深いと思った。
- ・指導員としての意識が増々強くなりました。「規範を守る道徳的な人間としてのお手本」を肝に命じて取り組みます。
- ・先輩方々の意見を聞いてやはり聞く(他人の意見を)と視野が広がってくる。
- ・交通安全指導をする上で、多くのスキルの必要性を感じた。
- ・他都道府県での指導方法、内容などがわかり参考になる。職場のみでなく他からの情報収集ができた。
- ・全国からの指導員と私自身の交通安全指導講習のレベルの低さを痛感しました。
- ・より交通安全について意識が高まった。
- ・他の人の熱意を知り、自分ももっと教育の仕方、手段を工夫する必要があると思う。
- ・交通安全指導者としてあらためて責任を感じた。
- ・子供が理解できるよう判りやすく講話をしていきたい。
- ・講話をするにあたり、今までは本題にはいったが、導入部分が必要な事。歌、ゲーム等。
- ・過去に話した事の記録をとる事、ネタ帳を持ち歩く。
- ・より一層、自己を律し行動、教育に取り組む。
- ・話し方⇒表現力。紙芝居⇒声、間の取り方。
- ・指導に対する意識。
- ・他の地域の指導員の方々と意見交換ができ、沢山の参考事例を得られ、やってみたい事が増えたり、自身の地域への誇りが持てたり、感じるものが多くありました。
- ・全国で色々な方々が事故を減らすため頑張っている様子がわかり、まだまだ頑張らなくてはと。
- ・教えていることと現実の違いはあるのが当然のことだと思っていましたが、まだまだやれることがあると思いました。
- ・人間としての基本である。
- ・現場主義から、もう少し安全教育に取り組みたい。
- ・マンネリ化していた内容を新しい事に挑戦できそうです。
- ・これだけ多くの指導員が同じような気持ちと、同じような意識で交通安全活動に取り組んでいるこ

とが分かり、意識があがった。

- ・座学中心で寸劇などが中心でしたが、脳の活性を取入れた手や体をつかった講習会の開催も考えられるようになった。
- ・交通安全を人に話すときの意識が変わった。ルールを話す側と、それを聞く側ではやはり意識の差があり、こちらがどんなに頑張っても、聞く耳を持たない人もいるかもしれないが、こちらの努力や話し方を工夫して、少しでも多くの人に交通安全に興味を持ってもらいたいと思った。
- ・講習をする時の引き出しを増やしたい。
- ・全国から人が集まり、色々の条件の違いがわかりました。
- ・今まで自己流で話していたが、「指導者の一言は人の人生を左右する」という言葉の大切さを深く考える。
- ・指導をする意識がまだまだ甘いと感じました。
- ・子供に対しての安全教育の考え方。
- ・自分のしている教室の内容は他県のものとは違うことがたくさんあって足りないことばかり気になっていましたが、自分だけではなくて県内の様々な団体、自治体の方と役割分担しながら交通安全を広めていけばいいのだと思いました。今までは他の団体の方々とのことをあまり考えたことがなかったので今回色々な人の話を聞いてよかったです。
- ・もっと意識を高めなければならない。
- ・交通教室の内容がマンネリ化している為、今回教えて頂いたことを参考に内容を変えていきたい。仕事に対する思い。
- ・心の持ち方、意識の進歩だと思う。
- ・全国から参加された方々のお話を聞いてこれまで考えた事もなかったような方法等を知る事ができました
- ・幼児・学童の交通行動の講座が特に勉強になった。
- ・自分にできなかったことを学んだ。
- ・現在まで経験が少ないし知識的にもとぼしかったから。
- ・いろいろな話を聞き、もっと工夫した活動をしたいと思った。
- ・自分に引き出しができた。私の中に知識が増えたので、これから交通安全教室でのお話しも今まで以上にできそうです。
- ・交通弱者の目線に合わせたら、もう少し踏み込むことで少しでも交通事故を減らすことが私達の責務とし、今回受講した人が地元に戻ったら 1 人でも多くの人に思いを伝えることが最初の仕事かな？
- ・活動している事へ意識が高まり、大変感謝しております。有難うございました。
- ・改めて、責任感をもって指導員の仕事をしていきたいと思うことができました。
- ・全国各地で交通安全啓発活動に携わる方々のお話や体験談を伺って、各地で自分と同じように頑張っている方々がいることがわかり、今後の活動の励みとなる。
- ・地域の温度差は見られるものの、創意工夫された対策は参考として生かせると思った。
- ・様々な土地の方とお話ができ、刺激となりました。

- ・自分の意識を再確認できた。
- ・悩んでいる点が同じであった。幼児教室の回数ではなく、繰り返し大事だという事がわかった。
- ・今年 4 月に交通教育指導者になり、これまで研修の機会がほとんどなかった(先輩の方を見様見真似でやってきた)今回様々なことを学ぶことができ、大変ありがたかった。今回受講した内容を取り入れながら、自分自身工夫しながら今後の指導に活かしていきたいと思う。
- ・講座自体ではなく、他の自治体の方とお話しをする機会を得て、とても刺激になりました。今の教室に満足することなく日々高めていくべきだと強く思いました。
- ・対象者がどのように感じるか、考えながら話しをする必要があると思いました。
- ・「話し方」講座では、自分の話し方をふり返り改善するところに多く気が付きました。
- ・検討会では、集まった参加者の交通安全に対する真剣な思いを感じました。私も改めて一層励みたいと思います。
- ・指導者同士の情報交換ができて意識が高まった。
- ・話し方について、いま一度自分を振り返ってどうだったか考えることができた。
- ・わかりやすい話し方のコツ。
- ・全く知らない人間の集まりで、どうしたらいいかという効果的な話し方があるということが勉強になりました。
- ・話し方とかいつも何となく使っていることが、もっと気をつけ相手に伝わるようにしたい。
- ・これまでに指導者としての知識・技能がなかったが、自分自身の意識改革になった。
- ・話し方や教材など自主的な研究が必要であることがよく理解できた。
- ・幼児に対して話す時の話し方や、紙芝居など今後の活動の中で取り入れていきたいと思った。
- ・他地域の活動内容の情報を多く得ることができ、マンネリ化(交通教室など)の解消につなげるヒントもたくさんありました。指導者としての自覚を改めて持ち、取り組もうと思います。
- ・もっとがんばりたいと思いました。
- ・各都道府県の交通安全教室について学ぶことができ刺激となった。学んだことを取り入れていきたい。
- ・皆さんの交通安全指導はそれぞれの年齢に合うように教えているやり方で、この指導を取り入れたいと思うのもあり勉強になりました。
- ・マンネリ化された現状に各地からのアイデアを用いて隊員達に刺激を与えようと思ったから。
- ・今まで以上に受講者の立場に寄り添った指導を行っていきたい。
- ・他自治体の取り組み等に大変刺激を受けた。
- ・日々交通安全活動に携わっているが、今後の活動を見直していくべきことを感じた。
- ・守破離の精神。
最発達に於いての教育、教室の行い方を考えたい、見直したい。
- ・同じ仕事関係の人たちの話を聞けたので、今後も、がんばろうと思う事ができました。
- ・ただ単に話をしているだけでは相手に伝わらないとわかった。目的を持って話して行こうと思った。
- ・全国のあちらこちらで、講座や教室を開くために、大変なご苦労や工夫をされていることに、大き

な刺激を受けたこと。

- ・発達心理学の観点による幼児・学童の交通行について、とっても良かったです。大きな変化がありました。
- ・全国の交通安全意識の高い人を見て、刺激になった。
- ・改めて交通安全の重要さを感じました。
- ・取り入れてみようと思う部分もありましたが、土地柄地域性もあり、すぐに「やってみよう」とは行かないものの「ここをどうにか変えたら、うちでもやれるんじゃないか？」と思うところはありませんでした。
- ・教える人が真剣に伝えないと 受ける側の人の心にひびかない。何にでも熱意をもって行う。
- ・話し方、教材、色々な交通安全の仕方など、自分の知らない事をする事が刺激になった。
- ・色々な人の話を聞いて、参考となる事がたくさんあったと思います。伝える事の大切さを再認識した。
- ・普段活動していると各々に自分の枠の中だけで(町の中など)かつどうしているように感じてしまいますが、全国にこんなにたくさんの方が皆さんの交通安全のために勉強しに来ていることを改めて目にし、実際に活動している人がもっとたくさんいることが分かったことも良かったです、それぞれの講師の方、事例発表の方たちからお聞きすることができたので、分からないままやっていた今までとは違う指導・行動ができるという気持ちになることができました。
- ・知らないことや自信がもてなかったことに対して、少し自信がもてたり、また、他の指導員の方の意見を聞いて取り入れたいものがあつたりととても実になる3日間を過ごすことができました。
- ・交通指導員としての活動の場がないが、ボランティアで幼児や高齢者へこの講座を何かに利用させて頂こうと思いました。
- ・全国に交通安全という同じ目的を持って活動している方々がたくさんいることを心強く感じた。自分たちの仕事に誇りを感じる事ができた。
- ・自らは街頭指導、小中学校の自転車教室等、主に車道実技での安全確認等が活動内容だが、今回受講して交通安全指導者の方が多く、自分達とは異なる意見も有り大変参考になり今後の安全教室に生かせると思う。
- ・全国に交通安全について日々活動されている方がいらっしゃることを知り、私もがんばろうと励みになったから。

10. どの講義が役に立ちましたか？(複数回答可)

① 幼児交通安全教育(警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係)	62名
② 交通安全指導における効果的な話し方(藤原 徳子)	109名
③ 紙芝居の演じ方(おの いづみ)	50名
④ いきいき運転講座(池田 佳代)	55名
⑤ 発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について(山口 直範)	61名

(敬称略)

11. 具体的にどんな点が役に立ちましたか？感想等ご自由にご記入ください。

① 幼児交通安全教育(警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係)

- ・着ぐるみの動き方。
- ・警視庁の方々のデモンストレーションは、楽しく肩の力を抜いて参加できる、素晴らしいものだと思います。お話の仕方も場慣れをされているからでしょうか。とても聞きやすく、自分もあのように人前でお話できたらいいなと感じました。
- ・導入の仕方や体操等の効果的な取り入れ方。
- ・警視庁の方々の話し方などとても良かった。
- ・着ぐるみピーポちゃんとのかけ合いの愛らしさ一子供に夢を与える効果大。
- ・手話。
- ・外人向の交通教室。
- ・着ぐるみで演じる際の注意点。
- ・警察官の歯切れのいい発声は聞いている者を引き寄せる。導入に力を入れている。
- ・白バイ隊の手話、体操、着ぐるみ、楽しく聞いてもらえると参考になりました。表現(笑顔)、聞き取りやすい話し方。
- ・寸劇をやっているのので、ピーポ君の中を見る事ができて参考になりました。(普段見る事ができない部分なので、ためになりました！！)
- ・クイーンスターズの表情、動作、話し方などを参考にします。

② 交通安全指導における効果的な話し方(藤原 徳子)

- ・自分自身の話し方を改めようと感じ、どのように話をしていけば良いか考えられた良い内容でした。
- ・ロジックツリーを用いて話す内容を整理するという事。
- ・たくさんの人の前で話す時に、視線の動かし方、今まで意識したことがなかった。色々な意見を聞く事ができ勉強になった。
- ・教育を行う際の話し方や心構え。
- ・指導の心構え、指導者の一言が人の一生を左右する。相手の尊重する大切さ等、大変勉強になりました。
- ・藤原先生の話し方の講座がとても勉強になりました。子供、保護者、高齢者など、話す機会が多いのに、話す、聞いてもらう自信がなかったのですが、心の持ち方を学んだように思います。
- ・話し方で聞く人が印象や理解、好感度など様々変わってくる事。
- ・「交通安全指導における効果的な話し方」では、コミュニケーション能力の開発も含めて、大変参考になった。
- ・効果的な話し方で、睡眠不足は飲酒運転と同じ、また児童・学生に良く寝た、朝ごはんを食べた、街頭指導で声かけたい。

- ・話し方は色々なこと対処しなくてはいけないと思う。
- ・効果的な話し方について、改めて講座を聞くと、「普通にやっちゃってるなあ」と思い、自らを振りかえる良い機会になりました。
- ・人に自分の考えを伝える時どうすれば伝わりやすいかをおそわった。
- ・指導をする上で、効果的な話し方は今後活かしていける。グループワークのなかで得た他都道府県の情報を得たことで、他のところの状況がわかり、参考になる点がたくさんあった。
- ・職場に持ち帰り、今一度私たち専門員の意識を統一するのに役立つ。
- ・全講義良かったが、特に私にとって今後の指導、講習に役立てたいと思います。今後またこのような研修に参加したいです。
- ・講話をする際、命令形で話さない事や講話の組み立て方が判りやすかった。
- ・指導者に求められる基本、心構え等ちょっと原点にかえり、復習し、勉強したいと思います。命令形より依頼形にするとか…。
- ・話す力のスキルアップに取り組んでまいります。
- ・相手に自分が話した事がどう受け入れられているかということ。
- ・人に興味を持ってもらうための話し方、講座内容など。
- ・交通安全指導における効果的な話し方で、私の場合と同じようにする事が良かったと確認できた事や、もっと注意したいと感じたことです。
- ・藤原徳子講師の話し方、マナーの知識。
- ・人との話し方。
- ・藤原先生の講話で話し方は大変参考になりました。
- ・話しが分かりやすく、実際に取り入れる事ができる内容があった。
- ・自分の話し方を反省し、改善点に気づいた。
- ・話し方、視点法、傾聴、講座内容の組み立て方などは早速実践したいと思う。
- ・藤原先生の効果的な話し方について自分に忘れていた所がたくさんあったと思います。県下の指導員講習会においても、このような講座が必要なのではないかと思います。
- ・交通安全における効果的な話し方は参考になりました。
- ・話し方、声のトーンによりこちらの伝えたい気持ちを表現すること。
- ・藤原先生の効果的な話し方は明日からでも使える内容でした。
- ・藤原先生は特にオーラがあり。あつという向の講義でした。
私も人をひきつけ、ひきこまれていく、教室、印象、記憶に残る教室していきたいと思いました。
- ・自分たちの指導によって対象者の今後が決まっていくことを実感した。
- ・藤原先生の「効果的な話し方」の講座について、感動的でした。使命感を深く自覚させていただきましたし、具体的な話し方のご指導はわかりやすく、言葉づかい、基本動作、視線のむけ方等々、すぐに役立つ講座でした。講話の奥にある深い哲学のようなもの

に共感しました。

- ・話し方等講話時の基本を知ることはできた。
- ・話しかけ方の声のトーン。
- ・特に、効果的な話し方においては、台本の文面通りにしなくて良いという講師の先生の言葉に自分の思いは違ってなかったと受け入れてもらったように感じ、このことについては持ち帰り職場で話し合いたいと思いました。
- ・話し方講座は交通安全教室で、本日より実生活の至る所で活用できそうです。藤原先生講話を元に子供達にわかりやすい交通安全のお話ができそうです。
- ・効果的な話し方がある事。
- ・話し方、目線。

③ 紙芝居の演じ方(おの いづみ)

- ・紙芝居の使い方、声の出し方。
- ・紙芝居を演じる時の声色の使い分け方。
- ・紙芝居の時の声の出し方、読み方など、とても参考になった。
- ・紙芝居の演じ方の講義で、キャラクターの変化のつけ方は、すごく参考になりました。地声が高い方なので、変化をつけるのが難しいと思い込んでいましたが、「音階」であれば、変化をつけられると思えました。これからは、紙芝居にも挑戦していきたいと思えます。
- ・紙芝居の導入に関する有効性の発見。
- ・紙芝居での声の出し方、変え方です。今までは3、4人くらいの役で精一杯でしたが、音階で変えていけばよいのだと、気付きました。実践したいです。
- ・紙芝居は初めてみました。声の強弱などで声を変化させるだけで、別人の声と思えるところ。大人でもひきこまれたので、子供はとても楽しく学べると思った。
- ・今まで紙芝居をやった事がなかったが、子供のころ夢中で見た紙芝居をやってみたいと思っていたので、演じ方の基本の話しを聞いたことがとても参考になった。
- ・紙芝居の読み方、図書の大切さ、声の強弱、紙芝居、絵(登場人物)が主役、読み手ではない。
- ・発声法、役作りによって話しが活きる事が実感できた。
- ・交通安全教室をするうえで、わかりやすく相手に伝える話し方や、腹話術もするので、紙芝居の声の使い方や、間の取り方がすごい参考になりました。
- ・紙芝居の読み方。

④ いきいき運転講座(池田 佳代)

- ・どの講義も役に立つものばかりだったが、実践で使うことができる「いきいき運転講座」がとても役に立ちそうであった。
- ・グループディスカッションや脳トレを盛り込んだ講義の手法。

- ・手あそび運動。
- ・高齢者に関心を持たせる方法の理解。
- ・運転免許証の返納でなく、高齢者が元気に生活するために自動車を利用できる、川島先生の脳トレーニングを続けて認知する能力を高めることの必要性が理解できた。
- ・導入の方法、高齢者にディスカッションしてもらいながら、「気づき」を促していく方法、講話における話し方。
- ・「いきいき運転講座」の教材を使用したことがあったが、正しい使い方(進め方)は知らなかったため、今回聞くことができ大変役立った。
- ・脳トレーニングを面白く行う事の大切さ。睡眠がいかに大切か。帰郷しましてからテキストをもう一度じっくり読んで大いに参考にさせていただきます。
- ・高齢者への運転の取組意識の向上。
- ・いきいき運転講座は高齢者教育に壁を感じていた時だったので今後、教室で行なっていくつもりです。
- ・いきいき講座の脳トレや手あそびしながらの身体体操などのスケジュール構成。

⑤ 発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について(山口 直範)

- ・山口先生の危険を感じとる能力。
- ・子供の発達段階や心理を知れ、保護者にも説得力のある話をするのに役立つと感じた。
- ・発達心理学は子供の現在の状況がよくわかり、保護者にも話ができる内容でした。
- ・普段あまり馴染みのない発達心理学の観点から幼児の交通行動を学べ、どれも大変参考になるものばかりで、もっと深く聞いてみたいと思えるようなものでした。
- ・幼児の心理、どのようなことに注意したらいいかよく分かった。
- ・年齢に応じた内容、接し方を今回学んで活用していきたいです。
- ・子供達の危険感受性、能動的な教育方法がすごく理解できました。
- ・子供の心理を知り、自分で考えさせるということ。
- ・子供への指導について、勉強ではなく学習となるような話しの仕方を考えたいと思った。また、保護者に対しても、目先の安全にとらわれるのではなく、子供自身で危険を回避できるような指導をしてもらうように呼びかけたい。
- ・とても聞きたかった講義内容。特性を理解した上で指導ができる。なるほど、そうだったのかと保護者の啓発時確固たる自信を持つてできる。
- ・山口先生の話は、とても興味深く、教える側としてもっと考えなきゃなと痛感した。
- ・子供の行動心理が良く解った。
- ・幼児、児童の特性、特徴を理解して指導することが大切だと痛感した。
- ・山口先生の講義は、今後の安全教育に取り入れてまいります。とても素晴らしい講座でした。
- ・発達心理学…先生から専門的な話が聞けて、自分も説得力を持って保護者に話がで

きる。保護者の理解も得られそう。

- ・幼児の行動のメカニズムを発達段階から説明いただき、よく理解できました。また目先の交通安全にとらわれず、交通安全教育をする大切さも再認識できました。
- ・子供に対する安全教育は、まず理解する事とともためになりました。
- ・ことばの使い方・児童のひきつけ方・発達心理学が子供の行動を理解するうえで大変参考になった。
- ・これからの幼稚園・保育園・小学校の交通安全教室・登下校指導。
- ・内容が楽しかった。山口先生の講義が良かった。地域の見守り隊に聞かせたい。
- ・指導者に求められる実践スキルの中で現場の心得、視点法、メッセージの伝え方など、児童への伝え方を本講座で基本を学習した。今後の指導に活用していきたい。
- ・子供に寄り添って話しをする事で聞き入れてもらえる事を学んだ。
- ・こどもの特性はある程度理解していたが、改めて知りました「勉強」ではなく「学習」させることが重要ということを知ることができた。
- ・街頭指導での声かけが子供達にとって「認知されている」ことにつながることを知り、より意識をして積極的に声をかけていこうと思いました。
- ・山口先生の「発達心理学…」は幼児教育に一步踏み込んだ内容で取組めそうです。
- ・発達心理学の観点から、幼児の視野での問題、他者理解等非常に参考になり勉強になりました。その点からまた新しい視点・対応していきたいと存じます。
- ・子供の心理。

【グループ討議】

- ・グループ討議では、他県の指導者の生の声を聞くことができ、違いがあることが分かりよかった。
- ・グループの話し合いで、様々な立場からの異なるものの見方を知ることができた。
- ・グループに分けディスカッションするといろいろな意見が出た。それをまとめ発表し、他のグループとの比較が大変おもしろかった。
- ・グループ討議内で他団体の情報を共有でき、ノウハウ等も聞くことができ、今後の交通安全教室への取組み方だけでなく、制度の考え方等を学ぶことができ、役に立ちました。
- ・グループ討議では、他県の方の情報を聞くことができたので良かったし、今後の参考になりました。
- ・子Bで話し合いをして、皆さんの意見を聞き、幼児・児童に伝わるように指導している1つの例を信号の青黄赤の動物を使用して指導しているのはいい方法で帰ったらすぐやりたいと思います。
- ・各地方で安全教室のやり方も違って勉強になった。グループディスカッションが有意義だった。

【事例発表】

- ・朝の登校指導やその時に発生する自転車(右側通行など・・・)への対応の仕方が参考になりました。他にも安全教室等で行われている歌、体操などの実演が、現場ですぐ取り入れさせていただこうと思いました。
- ・活動内容が聞けたこと。
- ・一番役に立ったのは、長野と函館の方の事例発表でした。いつも歩道がわかりにくいと思いましたので、縁石を活用したいと思いました。また、高齢者のお楽しみにも苦慮していたのでとても参考になりました。
- ・函館市の例は、似たような事をやっているものもありましたが「取り入れてみようかな」と思わせるものでとても良かったです。声も聞きやすく、聞く側の方にも自然に入ってきてわかりやすかったです。
- ・長野県の模擬縁石は取り入れさせてもらいたい。よいアイデアだと思いました。

【その他】

- ・交通安全指導員として、地域の方に対しての話し掛け方や対応の仕方。
- ・全国の交通安全教育に携わっている方の熱意を感じる3日間でした。明日からの安全教室に、効果的な話し方・手遊び等を取り入れて行っていこうと思います。目先の安全にとらわれない、子供達自身が考えて行動できる完全教室を目指します。
- ・自分が「規範を守る道徳的な人間としてのお手本」であったのか反省させられました。
- ・一方的なお話で進めていた自分を再認識でき、聞き役においてになられた方から、相互に確認をしてみたり、リラックス(肩こらず)的な進め方の必要性を覚えました。
- ・都道府県の指導員の意見が聞けて、刺激的になった。
- ・今まで、具体的な専門分野について学ぶことがなかったので、時間をかけて教えていただいたことで、知識として学べることができました。
- ・全国の交通安全教育の様子を知る機会がないため、実際に様子を聞けることは役に立ちました。
- ・講師の先生方が、受講者の立場等を理解して下さっているので会場全体が打てば響く関係で、時間の長さを感じる事無く研修を受ける事ができました。
- ・効果が分かって教室や啓発を行うこと。
- ・技術とか技という大変でしょうか、ちょっとしたことが相手の理解に結び突く。
- ・元氣よく楽しく・あきないけど身につく(ルールなど)。
- ・色々な自治体の方のお話が聞けたこと。
- ・教材の話などは、その地域に合っているかそうでないかで、使えたり、使えなかったりするが、基本的な「話し方」「聞き方」等は全国どの地域でも活用することができると思いました。相手が退屈しない交通安全教室をしていきたいと思いました。
- ・事例を見て、よく理解したと思っても、大人数で見ると発見があること。
- ・自分たちで抱えていた問題点や、使用したことのない教材など不安なところを他の指

導員さん、講師の先生方、様々な方の意見を聞くことで発展した内容の話を聞いた。

- ・人に話を聞いてもらうこと、人の話を聞くことが特に役立ちます。交通安全教育以外の場でも大いに活用できそうです。
- ・地区によつての取組み方が違う、行政によつても違う。
- ・交通安全教室のもつていき方、進め方、話し方、紙芝居のあり方、子供達を楽しく進めていく方法。
- ・体を使い、歌も使って進めて行く。
- ・話し方や講話に使える内容が勉強できたことは良かった。いきいき講座も実際に自分たちで行ったので、今後使用する際の手順等がわかって良かった。発達心理学の講義は、安全教育について、今一度考えることにつながる講義となり、とても参考になりました。
- ・体操や脳を活性化させる運動を習得できた。
- ・他の県の方の指導方法や教材などいろいろ参考になりました。
- ・「自身の地域での教室でこれを導入するとしたら…」という視点で、どの内容も見たり体験する事ができた点。
- ・色々なやり方があるのがわかった。話術を心得たら、もっと教室が楽しくなるかな？
- ・普段聞いたり、教えられてやっている事の理由や、もとの部分が詳しく学べる事ができた事。
- ・普通交通安全協会の催しですと被害者の悲惨な体験の話ばかりを DVD 等でも発表されるが、それよりいかに事故をなくすかを話し合った方が良いと思います。
- ・使用されている教材をぜひ本市でも取り入れたいと思います。
- ・本当は具体的な機材や教室のカリキュラムの話を聞きたいと思って来ましたが、実際他県の方々と話したり、先生方の講義を聞いて、自分たちの行う教室の内容を考えることも大事かもしれませんが、それより人柄・気持ち等人間性も必要だと思い、これから心にとめておこうと思いました。
- ・教室での視点や登下校時の動きなどを今以上に行うともっともっと受け入れてもらえると思い、心がけようと思った
- ・話し方。手遊びや教材。
- ・交通安全への取組みの意識改革になりました。また、グループ討議は参考になりました。
- ・それぞれの講義の内容がすべてにおいて。
- ・人との接し方や子供やお年寄りとの会話の仕方。
- ・低学年には繰り返し教え、体で覚えてもらう。集中力、楽しく心に残る交通安全教室でルール、マナーを積み重ねてあらゆる善悪を植えつける事と重要性和親も一緒に学んでほしいと思います。
- ・交通安全教室における話し方。
- ・具体的に例を挙げたわかりやすい内容であったと思います。

- ・自分の地域に持ち帰ったとき、実際に取り入れられる実例がいくつもあったので、その実例を聞いたところが役に立った。
- ・他の県の人達のいろいろな意見を聞き、とても参考になりました。講義も大変判り易く勉強になりました。この会に参加できとてもいい経験ができました。
- ・応用できそうな事例・手法の解説が多かった。
- ・今後、交通指導隊の朝の定期立哨等の活動の時に幼児・児童等への接し方に変化が出てくると思います。また、高齢者の交通安全等の皆様の考え方が参考になりました。
- ・交通安全教室で話をする上で話を聞きたいと思うように、話し方を気をつけたい。幼児の行動や特性などもしっかりと頭に入れ指導していきたい。幼児が自分で考えて行動できるよう、指導内容もまた考えていきたい。
- ・各地の交通安全教室に対する工夫点を知ることができた。行政と団体との関わり、財源について情報を得られた。
- ・1月に幼稚園でパネルシアターをします、そのときの為にも、声の出し方すごく勉強になりました。
毎朝、小学生の登校の時、立哨しています、小学生に話しかけてはいますが、話し方は今後、役立てたいと思います。
- ・どの先生もお話が上手で、話に引き込まれた。テンポ良く話すことが、相手を飽きさせないのかもしれない。見習いたい。
- ・全ての講座で交通安全への意識がさらに強くなりました。
- ・話し方で受ける印象が違うということ 子供に対して、見くだした話し方をしない。
- ・他県等の活動状況を知ることができた。
- ・講師の方の講演を聞いて、参加型の方が聞く側をあきさせず、楽しくできる。
- ・地元に戻ってから交通指導員の方々に立哨・教室等での子供達の声かけのポイントを具体的にお願ひできる自信が持てました。

12. 今後、改善してほしいところと、また改善策があればご記入ください。

- ・紙芝居が後ろの方の席で見えにくかったです。モニター等で大きく映せたらよく見えるのではないかと思います。
- ・グループ討議をもっと早い段階でしていれば、もう少し早く他府県の方とお話することができたのではないかと思います。
- ・「いきいき運転講座」についての講習は数回受けたことがあるため、違うものであると良かった。受けたことがない方が多いと思いますので、しょうがないとは思いますが、
- ・もう少し実践的手法があればいいのではないかと思います。(幼児、高齢者の教室・教育も必要だが、一般の方、中学生、高校生に対する実践手法)
- ・スクリーンに出される映像の切り換えが早いのと、少し見にくい部分もあって、メモを取るのに苦労しました。しおりに記入されている分はいいとしても、そうでない所はスクリ

ーンに出してほしいと思いました。

- ・講義のことではございませんが、グループ討議をもう少し早い段階でしていただけたら、グループの方たちとより交流できたのではないかと思います。グループの方々はとても素晴らしい方ばかりだったので、もっと交流できれば良かったと思いました。
- ・今回初めて参加して、とても勉強になりましたので、参加できる機会をもっと増やして欲しいです。
- ・難しいかもしれませんが、グループ討議でもう少し小グループに分けてほしい。もっと詳しく聞きたい市町村の指導員さんの話が聞けなかった。
- ・近くの席の方グループ討議でしか話す機会がないため、より多くの参加者とお話する機会がほしい。
- ・旅程表の記入方法が分かりにくく、事前の電話や初日、2日目のスタッフの方の返答もまた違って困りました。
- ・事前に会場周辺のホテル等の案内があれば助かります。(もっと早くに)
- ・席が後ろだったのでスクリーンの文字が見えにくかった。もう少し暗くして頂ければ助かりました。
- ・全体での座学講座の一部を少人数のグループワーク、ディスカッションへ変更してほしい。
- ・グループ討議の時、ホワイトボード等があると良いと思う。(使用するかしないかはグループの判断に任せて良い)
- ・自己紹介タイムが長くなってしまった→最初にスタッフの方から時間の目安を示して頂くと良い(ex.ひとり1分間)。
- ・パワーポイントの資料、バックの色が濃いと字が見づらい。できれば薄めの色で。
- ・事例発表者は必ず資料・レジュメ等を用意して頂きたい。口頭説明だけでは分かりづらい。
- ・年に数回の開催と地区別の開催にも…どうかと思いました。
- ・講義日数は増やして欲しい。
- ・前にあるシアター画面が見づらい。後ろの席の人たちはほとんど見えていないと思われます。会場内の照明調整もですが、シアターに映すのに黄文字、赤文字など反射して見づらい色の教材は不向き。
- ・警視庁の方々の活動を資料としていただければよかったですと思います。
- ・事例発表の持ち時間が長い。
- ・交通安全講座用DVDマニュアル。
- ・今回初めての参加だったので、また参加できる機会がほしいです。(大変勉強になりました。)
- ・高齢者の身体能力が衰えていくメカニズムについての講義があれば良かった。
- ・会場内寒い。
- ・グループ討議について上手く表現できないが、不完全燃焼気味だった。何のためのグ

- ループ討議か意味がはっきりしていなかったように思う。
- ・警視庁の方に、子供達への指導方法などをもっとしてほしかった。
 - ・他の所の自作の教材などの展示や、作成方法などがあるといい。
 - ・会場が明るすぎ。映像が見つらなかった。
 - ・パワーポイントのカラー文字が見えない場面があった。(白抜き文字が良かったと思います。)
 - ・事例発表等多く聞きたい。
 - ・前後の席の間隔が狭く感じたので、可能であれば改善していただきたい。
 - ・初めての参加だったが、会場も駅前と言う事でわかりやすかった。初めて東京へ一人で来た。
 - ・2日間で夜遅くまでやってみたら！
 - ・現場の指導員と市町の職員の指導員と分けてみたら。
 - ・グループワークの司会等は事前に指名してほしい。
 - ・他県の人が普段どんな風に交通教室を行っているのか(計画書や、依頼のされ方、1つの交教の流れ、効果的だと思う手段、実験等)紙でもいいので知りたかった。
 - ・個別で少数でも良いから講義を受けたいと思います。
 - ・グループ討議の「幼児、児童の交通安全」は、立哨指導している方と交通安全教室をしている方で分けてほしい。
 - ・もっと様々な事例発表を見たかったです。
 - ・グループの討議は事前にアンケートをとっているもので、それにそってまとめ、意見が良いのでは。
 - ・パワーポイントの字が見えないところがあったので、色づかいの工夫をして欲しい(藤原先生の講義)。
 - ・学校、幼稚園、保育園、警察(交通課)、市の事務局関係各位と助け合い、話し合い、協力しあっていき、子供達を守って行けるようにと思います。改善策とまではいなくても、対話して仲良く進めたいと思います。
 - ・事例発表、分科会発表、質問事項がありますが、そのチャンスがありませんでした。より内容確認するためにも少し受付時間をとってほしいと思いました。
 - ・今回の講義を終了しても、自分はボランティアの身分であり、公務とか担当の部署の方は活かせると思いますが、自分は直ちに地域に戻ったらなにかの権限があればと思います。
 - ・話し方の講義の際に、参加者の実技の時間が少なかったと思う。話し方は実践することで身につくことだと思うので、参加者が実際に話し方を体でやる時間を変えて行っていただきたいと感じた。
 - ・グループ討議の時にいろいろな役職の方がいたので共通の話し合いをするのが難しいときもあった。同じ役職で分けてはどうかと・・・
 - ・グループ討議。結果、まとめを出さなきゃいけない為に、話しの広がりをおさなきゃな

らなく、色々な話を聞けなかった。テーマ別に話し合いたいグループで雑談に近い議論の方が良かった。結果、まとめ・捉え方は個々にでも良いのではないか。

- ・グループ討議の会場設置について問題あり。隣のグループの声が聞こえてきて自分のグループの話に集中できない。
- ・グループ討議は一室で実施していたため、討議内容が重なり、聞きにくいことから1グループ一室で実施できるよう検討してほしい。
- ・紙芝居の演じ方はとても参考になったが、人数の多い安全教室では後ろの方まで届かないので、対象人数が多くても通用する内容の話も聞きたかった。
- ・検討会は、討論が乗って来るまで時間がかかって手間がもったいないです。実際、やっている活動の発表を1つでも多く聞きたいと思いました。
- ・グループ討議のグループ分けの方法の改善を希望。幼児・児童グループでも幼児の交通安全教室のみの方と小学校の登下校見守りの方では、必要とする情報と悩みが全く違う為、話し合いが散漫になった。対象(幼児か児童)で分けるか、活動の内容(見守りか教室)、又は両方かなど分けた方が有意義だったと思う。
- ・グループ討論では、見守り隊の方と指導員では立場や仕事内容が違うため、話がかみ合わない。グループ討論と言ってもテーマについて討論するよりも、他の参加者の方が日頃どのような活動をしているのか、お互いに知りたい気持ちがあり、活動発表のようになっていた。結果報告を聞いてもあまり参考にならない。同じ部屋をパーテーションで仕切っているため、隣のグループの声が聞こえ、自分のグループの声が聞こえない。討論して結果報告するのではなく、意見交換の場にしてはどうか。
- ・今回の参加にはあまり積極的ではありませんでしたが、参加して本当に良かったと思います。また、機会がありましたら参加したいと思います。有り難うございました。
- ・参加者が20歳代~70歳代と幅広いため圧縮してはどうか。受付時間が来ていないと室へ入れないのはどうか、担当者1人が早目に受講者へ待機場所(室内)へ案内して待たせるよう指示すればよい。電車賃とホテルのパックを使う事と書いているが、できない場合もあるので明示すること。
- ・指導する方法の知識技能がないので具体的な指導方法が欲しい。例えば教材的なもの。
- ・グループ討論のサブテーマについては、事前に募集してそれを元に前日にグループ毎にアンケート希望などによって決定して、予め発表してはどうか。前日にサブテーマが分かっていたら当日の意見交換もスムーズに進むと思います。数年に一度は西日本で開催があってもよいのではないか
- ・グループ討議で、議題を何個かの中から選択して決めるようにしてほしい。グループで決めようとするとなんかいろいろな意見があるので中々内容をつめていくことができないから。
- ・2日目のグループ討議では、グループが同じでも職、立場(交通指導隊、見守り隊など)が違うことで討議したい内容が違うようだった。(指導員はどのような教材、内容を教室

で行っているか、見守り隊は登下校での児童への言葉がけの仕方など)。職や討議したテーマが同じ人でグループ分けした方がよいかと思う。

- ・私は初めての受講となりますが、内容が毎年マンネリ化しないようにがんばってほしいと思います。グループ討議も良いですが、そのテーマをもとに集まったグループでもっと各地の事例を話す時間が欲しいです。
- ・スクリーンの画面が見えにくいので、前の電気は消した方が良いのではないのでしょうか？せっかく参加しているのに、座席が遠く、写真がとれなかった。
- ・グループに討議で各テーマがありました。幼児に携わっていない方もいらっしまったようで討議が脱線してしまう。
- ・交通教室(交通安全教室)で、使う教材(簡単にできる教材)を、もっと知りたいです。手作りの教材の照会など、お願いします。
- ・カメラのシャッター音が気になった。デジカメ等無音にしてほしい。
- ・メニューがいろいろで、おもしろかったです。お世話になりました。ありがとうございました。
- ・照明が明るすぎてパワーポイントが見にくかった。
- ・交通安全教室を行っている人と 街頭に立っての指導を行っている人を分けた方がお互い話しを進めやすいのではないかと思った。
- ・参加者が街頭指導員と教室等指導員が混合で受講していたので検討会議で温度差を感じたので、活動状態に応じたグループ分けで検討会等の実施。
- ・しおり案内文の中で旅費の説明が長くよくわかりにくい。簡素化して頂きたい→講義に集中したい。
- ・出席者の活動母体任務(職員の方が多くて現場で従事している私にとってはあまり必要ないことが多かった。またグループ討議が幼児等の交通教室等の話に集中し、あまり得るものがなかった。部門別に分けたグループ作りをすれば話が盛り上がる」と思う
- ・後ろの席で、スライドの文字が見えなかったのを改善してもらいたい。
- ・スクリーンが見えにくかったです。
- ・希望ですが、私など完全ボランティアの指導員は日当は自腹です。自治体の職員の方とは(出張扱い)とは違います。今後このようでは私達のようなボランティアの参加が年々少なくなると思います。
- ・事例発表の方への質問があったのに時間がなかった。

13. 講師の方への質問等ありましたら、ご記入ください。(複数記入可)

講師の方へ頂いた質問事項については、各講義報告のページを参照ください。講師の方から質問に対する回答も頂いております。

14. 全体の日程についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・普段、受けることのできない講義を受けることができ、良かったです。他の指導員の方ともっと話す機会があれば良いなと思いました。
- ・もう少しグループ討議の時間を設けてほしい。
- ・もう少し日程が長い研修ができないですか。グループでの話が短いため、意見交換ができない。
- ・交通指導員として参加させてもらっていますが、朝の立哨時間にかからないような時間帯にしてほしいと思います。朝の立哨時間を終えてから会場へ向かえるような時間にしてほしいです。3日間という日程も1~2日間にしていただけたらと思います。
- ・3日間で、非常にたくさん内容ではありましたが、無理なく学ぶことができたので、よかったです。
- ・グループ討議は、人数も時間も良く、皆の活動を聞かせて頂いてもっともっとお話しを聞かせて頂きたくなりました。初めて出会った方なのに、ランチも夕食も一緒にさせて頂きました。これを一日目にして頂けるともっともっと良かったかも！（宿泊研修だともっともっと有意義だと思います。）
- ・より多くの時間をグループディスカッションに使ってほしかった。
- ・2日目のグループ討議後に同じグループの方ともスムーズに情報交換ができるようになった。1日目に自己紹介だけでも済ませられればグループ討議もより充実したものになるのではないかと思う。
- ・グループ討議は最終日に行った方が、講座の内容を反映したものになると思います。
- ・時間に余裕があって良かった。
- ・2日目の講義終了後に懇親会を設定して、情報交換する場を設けていただきたい。
- ・良いと思います。
- ・日程についてはこのくらいが良い。長くなるとちょっとという言葉が出てくるので…。仕事をもっている方もいるので他の仕事に他の方々に迷惑がかかると思うので。
- ・事例発表をもっと増やしてほしい。これが即実践できる内容だと思うので。
- ・最後の講演「幼児、学童の交通行動について」、もっと話を聞きたかったです。
- ・「交通安全指導における効果的な話し方」に始まり、バラエティーにとんだ今回の研修、講義。グループ討議での各県の方々の活動の様子。少人数グループでの運転自己評価についての話し合い。改めて安全運転の大切さを確認いたしました。
- ・1日目一午後、2日目一1日、3日目一午前 丁度良く感じました。集中力が保てる時間配分でした。
- ・あきもなく眠気もせず受講できました。
- ・4月に1日か2日かけて細かい研修及びグループ討議をさせてほしい。
- ・時間もちょうど良く、満足です。
- ・交通費が殆どの方が飛行機利用なので旅費が結構かさみます。3日間はやはりちょっと厳しいです。家庭の主婦でもありますので。

- ・全国からでも参加でき、修了日に帰宅できる日程に感謝しています。これからもこのような日程で実施される事を希望します。
- ・3日間は長すぎるので、2日間で良いと思います
- ・研修会は、私達の方でもやっておりますが、どこの地域の方も悩まれていることは一緒に、その結果どうしていけばいいのかが結局あまり解決はできないような気がしました。
- ・グループ討議をもう少し時間を取り、グループ分けももう少し細かく分けて、話し合えた方が良いでしょう。
- ・日程は良いと思う。
- ・目から鱗でした。すばらしいです。
- ・有難うございました。
- ・日程については無理なくよい日程だと思います。ですが、全国から参加者が来るので、宿泊場所から遠いと3日間の移動が大変です。次回の会場は駅に近く、宿泊部屋数の多い所にしたらいかがでしょうか。
- ・プログラムの組み立て方、集中がきれないようにうまく配置されていたと思う。
- ・もう少し時間が不足のようです。折角ですから3日間ならたっぷり勉強させてもらっても良いと思います。
- ・遠方から来ている人は、東京は初めてという人がおられたようで、研修以外の全暇も大切に考えてあげてほしい。平素は頑張っている方々に東京へ研修にどうですかと聞かれ、半分観光希望で来ている人が大半だと思います。その辺をもっと考えてあげてはどうですか。
- ・3日間ということで長いかなと思ったが、ちょうどよかった。充実しており、あっという間の3日間だった。
- ・3日その日の講座は有意義な教育で大変勉強になりました。県に帰り皆様を集合させて実際にやってみたいと思いました。
- ・伝達講習があり、どれも聞いた事のある内容ばかりでした。実際に自分の目で耳で聞けた事は、また、ひとあじ違い貴重な時間となりましたが、新しい内容も取り入れて欲しいと思いました。全体進行はとても聞きにくかったです。
- ・丁度良いと考える。
- ・このような講座を地方でもして下さると、参加しやすいです。予算の都合上、次回以降、私は参加できませんので。
- ・充実した時間でした。
- ・二日目のいきいき運転講座はDVDに入っている事をお話しましたとおっしゃっていましたが、お話しちょっと聞きとりにくく、パワーポイントも文字も小さく見づらかったです。受け手側にはあまり入ってくるものがなかったようにおもいます。
- ・3日間で良いと思います 短くもない長くもないです。
- ・良いと思います。開始時間から内容など丁度良かったです。

- ・グループ討議の結果発表は大変有意義だったと思う。だが、発表者は書記が取りまとめた資料+思情を付け加えるだけなので、質疑応答は発表者に対してはムチャぶりだと思う。
- ・ちょうど良いと思います。警視庁の方の教室もっと見たかったです。

15. 今後、講座で取り上げてほしいテーマ等ありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・自転車の安全教育について。
- ・長野県のように、実際に交通教室で使用している教材をいくつか紹介していただける時間があるといいなと思いました。
- ・今回もあったが、子供(幼児・児童)の心理や体の発達について。
- ・全国の交通指導員のデータ(人数、委嘱者、構成員の職種、ボランティア or 行政職等)についてのプレゼンテーション。
- ・当県の指導の位置付けが他府県とどう違うか知りたい。
- ・警察の方から交通法規が変更されたことについて、どのように検挙されているのか事例などを教えて頂けたらと思います。
- ・具体的な指導方法の紹介は引き続き行っていただきたいと思います。
新しい指導の教材等も知りたいです。
タイムリーな所で、14 項目の「危険行為」について、小学生にどのように伝えるのが良いか。
- ・自転車教室について詳しくお聞きする機会があればありがたいです。
- ・交通安全教室から遠ざかりがちな成人の方々への教育をどうしたらいいか。
- ・今、幼児・小学生等、スマホとかコンピューター等の機械つながりが多く、人間対人間の真心付き合いが薄くすぐ感じられるので、人を思いあう大切さ等を教える機会を持って欲しい。
- ・企業に向けて、やっている安全教室について教えてほしい。
- ・今回、警視庁の方の手話が良かったので、交通マナーの手話。
- ・外国の方も増え、参加して下さる保護者の方もいるので、日本の交通マナーやルールの伝え方。
- ・パネラー方式で<行政サイド・交通指導員(教育専門員)・安協(母の会)…>それぞれのお立場、実例、実感等。
- ・今回幼児・児童に対しての講座が多く感じたため、高齢者・自転車利用者に対する講座も含めてほしい。
- ・高齢者の交通教室(電動車いすや歩行について)を深く。
- ・お仕事で関わっていらっしゃる方、ボランティアの方、と立場が違うので、グループ討議では、そういう分け方をして頂くともっと深く話し合えたのではないか?と思いました。こんなに多く有能な方が集まっているのにお話しが聞けなくて残念です。

- ・山口先生の話が一番良かった。今後も続けて欲しい。交通事故だけでなく、すべての面において理解できた。今後続けていきたい。
- ・各市の主な取り組み意見交換。
- ・自転車のルール、改正後すぐはどのような教室内容にしているか。6月に改正することが多いが、4～5月で小学生の自転車教室が終わってしまい、その子たちと次会うのは1年越しになってしまうこともある。夏休みの学童訪問では、一部の生徒になってしまうので…。全体的に教室内容について知りたい。地域別、学年別での比較など。それぞれの地域での1回分の記録を集めて見たい。
- ・近年の事故の特徴、事例等のお話があってもいいかと思いました。
- ・今回の講座でも重要な点として挙げられていました”視覚にうったえる”ということで、もう少し実際の寸劇等がありましたら拝見させていただき、またDVDのような媒体で配布してもらえると助かります。
- ・”気持ち””心もち”の部分についての話題が多かったのもっと具体的な教材、機(器)材についての説明、紹介が増えれば良い。
- ・高齢者の身体能力が老化していくメカニズムと運転に及ぼす影響についての講座を設定していただきたい。
- ・高齢者の方の免許発行する時の運転しかた、技能の教育。
- ・警察官の方からの講話をじっくり聞いてみたいと思いました。現状の交通事故の状況等。
- ・弱者、子供、車いす、白い杖…その他いろんな方がいます。交通事故は健全者だけでなく障害者もいるのでそっちの方にもっと深みをもつ。手話は出ました。目の悪い方、車いすの方の話も聞きたかった。
- ・今後も特に高齢者に対する交通指導に重点を置いて学びたい。
- ・今回は幼児の発達心理学だが、高齢者、小学校高学年時のも聞きたいと思う。
- ・高齢者の体をきたえながらの体操等詳しく知りたい。(今回はキラキラ体操があったがもっと多くの)
- ・教材作成。
- ・腹話術。
- ・実際の交通教室の様子を再現。
- ・交通安全教室で歩行実技を実践、それと自転車実技の実践などをしてもらいたい。
- ・道路交通法など法律について講座をしてほしい。
- ・他の県の事例発表をもっと聞きたい。
- ・ゲーム、手遊び、自転車教室。
- ・老人が増えて来るので、今後事故が増えてきそう。だからどのように対応すれば？
- ・各業者による、交通安全器材の紹介。
- ・脳トレ、手あそびをたくさん知りたい。その後どういう風に交通安全にからめたらいいのか、脳や体にどのような効果があるのかまで知りたい。

- ・実験の種類。室内でもできる物、簡単にできるもの(スタントの人などに)。
- ・市町の職員の方も多くいるので、行政単位での各市町の取組みを知りたかった。
- ・高齢者の心理学や体力の低下等についても知りたかった。
- ・高齢者の脳トレは筋トレと同じで週 2 回～程度行わなければ効果がないと言われてい
ます。高齢者が運転を続けられるよう年 1 回程度の教室参加で、効果的な脳トレを続
ける方法は？
- ・現状で良いと思います。
- ・車両を使用しての安全教室の方法。
- ・道路交通法について、効果的な街頭指導の手法。
- ・高齢者の心理。
- ・○×クイズのゲーム感覚で問いかけてほしい。クイズの問題は警察の方で！
- ・今回は、幼児・高齢者中心の研修でしたが、中高校生に対する指導方法について取り
あげていただく事も検討していただくことをお願いします。
- ・教材を色々教えてほしい。
- ・高齢者について、運転だけでなく、高齢者の歩行・自転車など、特性などはわかっているが専門的な話も聞いてみたい。(ただ、まじめすぎると内容的にも眠りを誘うのでそこ
は気をつけてほしい)
- ・交通事故死亡者数は、24 時間以内に亡くなった人しかカウントされない。交通事故で
亡くなられたのなら、日にちがたってもカウントされなければいけないと思います。
- ・今回の講座も大事ですが、静の部分もありますが、動の部分もあっていいのかなと思
います。自分は交通指導隊です。車の動きや動かし方止める扱いなど。
- ・3 日間の日程ですので、取り上げているテーマをグループに分けるのではなくて、全体
の中でやっていただければ参加したいテーマが他にもあり、何かいい方法があればと
思いました。テーマどれも交通安全に関しての良いテーマでしたので、取り上げてほ
しいのが出て来ませんでした。
- ・具体的な教材のレポーターを数多く知りたいです。(今までにないもの、新しいもの)
(大人数向けの指導、受講者が座ったままで楽しめる教材)。
- ・一般ドライバー等に対して行う交通安全啓発活動について(子供・高齢者以外)、交通
指導員と関係機関(自治体・学校・警察署等)との連携による交通安全教育について。
- ・交通安全教育で実際に使用する教材(手作りのもの)や市販の紙芝居、DVD、また公
的機関で作成した DVD 等実際の教材をたくさん知りたかったです。交通安全教育の
実際のやり方(短時間でもよいので)実演して見せてほしいそれぞれの地域でやっている
内容を数多く知りたい。
- ・講義はネットでもできますので、事例発表や討論会を中心に組み立ててほしいと思
います。
- ・各県、各市でやっている活動の発表。教材の紹介。10 分位の待ち時間で交通安全教
室でやっている事を一部再現。

- ・事例発表は、自分の活動について話すだけではなく、具体例と教材をできるだけ沢山報告してほしい。
- ・他県、他団体の交通教室の実施方法、教材について。
- ・高校生等の指導の仕方。
- ・最初はお互いを知らないから緊張して、藤原先生のお話でやっとこんなだとわかったことで話すようになりました。そこで、全受講生がこういうことで来ていることがわかり、それ成にお話しをしました。そういう事を受講開始前にちゃんと説明して理解してもらうことが大切だと思っています。
- ・長野県の教育器具材の目と目のわかりあえる教育などをまた取りあげたら良いとおもいました。
- ・教育界で主流になりつつある「アクティブ・ラーニング」「ファシリテーション」を交通安全教育に盛り込んでいきたいと考えている。そのために講師の方をお願いしたい。
- ・もっと成果・効果のあった事例発表が聞きたかったです。
- ・自転車交通安全に実車体験について、指導ポイントやコースについて教えていただきたい。
- ・巡回で教室を開催するに当たり実際に行っている方策等を発表してもらい、新任者の振興に役立つマニュアル的テーマの検討会等の実施(教室の開催要領等)。
- ・人材不足ということがあり、指導員(者)としての適性や育成していくための具体的な対応などの講話などをして頂けたらありがたいです。
- ・人を引きつける話し方、テクニック。
- ・人形劇の演じ方、人形の制作。
- ・高齢者の免許返納。高齢者が加害者になる交通事故が年々増加する一方なので高齢者の免許返納が急務になると思います。高齢者の免許返納で成功している自治体、地域等が有れば事例を紹介して欲しいと思う。
- ・教材紹介。DVD・教材。

16. その他、講座全般にかかわるご意見・ご感想・ご要望等ございましたらご記入ください。

- ・この度はありがとうございました。どの講話も非常に興味深く、また役に立つ内容で、勉強になりました。
- ・交通安全教室の話が多かったので、他の広報啓発についてのお話をもっと聞けたらよいと思いました。
- ・交通安全指導養成講座に初めて参加させて頂いて、全国各地の方々の意見を聞く事ができて、とても貴重な体験ができました。これからも交通安全指導員として日々頑張っています。

- ・会場後方に座っていましたが、明るくプロジェクター使用時はスクリーンが見えづらかったです。
- ・3日間、ありがとうございました。
- ・他の府県の方々との懇親会があれば、多くの意見交換ができると感じた。
- ・初めて参加させて頂きましたが、スケジュール等もゆったりとっており、無理なく楽しく受講できました。また内容も実演等を多く拝見し、大変参考になりました。なにより今回、皆様方の交通安全に対する熱意を非常に感じる事ができ、今後の自分の仕事の励みになり、ありがたかったです。関係者の皆様、三日間大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・空港のチケット半券、チケットレスで乗るのに必要でしょうか。領収書があれば良いのでは。
とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今回初めて参加させて頂きましたが、色々なお話が聞けて、また、参加者同士の意見なども聞く事ができ、参加して良かったと思いました。
すぐに自分で取り入れるのは難しいかとは思いますが、徐々に自分の中で消化していけたらと思います。事例発表も皆さん上手でびっくりしました。
山口先生のお話はうなづけるお話が多く、自分自身を振り返るのに大変勉強になりました。
- ・2日目の午前中に、グループ討議の時間があつたので、皆さんの意見が聞けて、和気あいあいの雰囲気になりました。
初日にあつても良かったのかな…とも思いますが、大変参考になりました。このような研修がないとなかなか情報収集ができないので大変助かりました。ありがとうございました。
- ・グループ討議結果発表について。書記がまとめた内容をPCや投影機(拡大)等を使つたら発表者も話しやすく時間短縮にもなつたのでは。
- ・とても有意義なプログラムばかりで、充実した3日間でした。どうもありがとうございました。
- ・初めての参加で先生方の講話を理解する事だけでいっぱいいっぱいでした。行政によって取組みの違いが分かつた。統一した方が良いのではないかと思いました。情報の提供をお願いしたいです。どこから得られるのか等。
- ・事例発表された方の団体名や市町村名、名前がプログラムにあつてもいいと思います。(講義の先生方と同じように)
- ・関係各位の皆様へ感謝を申し上げたいと存じます。全国の皆様と同席させてもらい、たくさん内容でのご講座を頂きました。本当にありがとうございました。
- ・研修泊りも学生の修学旅行扱いのような合宿も嬉しいのだが…と思います。
- ・本当にすごく勉強になつた研修会でした。眠たくなることもなく時間があつという間に過ぎてしまいました。この研修会で教えて頂いた事を無駄にしないよう活用して他の指導

員にも伝えようと思います。ありがとうございました。

- ・色々な地域の方々の話を聞くことができ、色々なことに気づかせてもらえました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・一日目からとてもインパクトのある研修で、二日目も三日目もそれぞれとても有意義でした。先生方の研修と同じ位会場に集まった受講生の仲間達の体験談や工夫されているお話もとても役立ちました。こんな機会を与えて頂いて感謝しています。ありがとうございました。全て持ち帰り活用させていただきます。
- ・せっかく全国より様々な方が集まった場なので、より交流できる取り組み、グループワーク等を増やしてほしい。
- ・席替え。
- ・大変ありがとうございました。全国で交通事故を抑止するために努力されてみえる人の苦労がよくわかりました。機会がありましたらぜひ再度受講させていただきたいと思いました。
- ・2日目、幼児・高齢者、自転車などせっかくグループ別にしたのに、指導員の振り分けもランダムすぎてズレた話が多く中断、疑問など感じる事があった。職員、交通指導員(教室に行く)、地区の指導員(立哨してるだけ)など立場が違うそれぞれの話も聞けてよかったのもあるが、十分な時間、討論内容でない。本来聞きたかったこと、期待していた討議内容ではなかった気がした。また、1人の人が話しこんでしまい、気をつかい合ったりしていた、スタッフの方が少し立ち入るくらいの勢いがないとまとまりなく終わってしまう気もした。
- ・大変有意義な3日間でした。ありがとうございました。
- ・予算等々、大変だと思いますが、遠方から来て宿泊しながら受講された方が多いので、全員が宿泊研修になるともっと有意義な3日間になるのではないかと思います。
- ・会場の都合もあるかと思いますが、座席の間隔が少々狭いように感じました。あと、プロジェクターを使用されていますので明かりを暗めにしていただければよいかと思います。
- ・同じ立場(教育する)人だけを集めた研修が良い。具体的な教育法を話し合いたいのです。
- ・事例発表5組ぐらいどうでしょうか！全国のいろんな活動を聞きたいからです。
- ・初めての参加で先生方の講話を理解するののでいっぱいでした。
- ・他県のそれぞれのお立場の方々の日々の活動をお聞きでき、大変勉強になりました。このような機会がたくさん増えていくと良いなあと思いました。
- ・高齢者における「おたのしみ」「童謡おいかげっこ」家内と歩くときにやってみたい。しりとりしながら歩くのもいい。新聞にのっているまちがいさがし、小学校程度の書きとり、数学(算数)を実施しよう、1週間に1回程度から。
- ・発達心理学の観点による幼児、学童の交通行動についての講義は、今後の心構えの参考となった。

- ・事例発表(函館市)とても参考になった。もう少し高齢者の教室内容を聞きたかった。
- ・他地区で使用している教材など写真と簡単な説明のついたもので資料が欲しかった。
- ・新しく交通指導員になった人への基本マニュアルを国の方で全国统一したものを作成できないものか？
- ・3 日間あるので、席替えをしてもらいたい。席の近くの方とは話す機会があるが、遠い方とはなかなか話す機会がない。また、昼食を会場とするなど、もっと参加者と交流できる時間があればいいなと思います。
- ・帰宅したらもう一度読み返し、よりよい活動ができるよう頑張ります。本当にありがとうございました。
- ・3 日間大変お世話になりました。スタッフの皆様がとても親切で、いつも丁寧に対応していただき、心強かったです。また、有意義な時間をすごすことができ、有がたく感じています。
- ・3 日間にわたり、他団体との様々な情報交換ができ、大変効果的な講座だったと思います。今回の講座で学んだこと、情報をこれからの交通安全教室に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・30 分位、自由に発言、質問される時間があると良い。
- ・地元に戻り、ガンバル。
- ・初めての参加で、啓発、交通安全教室の開催に意欲ができました。
- ・今まで特別な研修を受けた事がなかったので、自己流でやっていたが、効果的交通安全教室にたいへん参考になり、直ちに実践してみたいと思う。
- ・大変有意義な 3 日間でした。できれば、他市の指導体制や手法などをもっと知る機会があると良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・3 日間ありがとうございました。
- ・教室で行っている教材をもっと見たかったです。自分達にできるものは取り入れたいと思います。
- ・席の間がせまく、通路へ出るのが大変でした。少人数のグループワークがもっと欲しかったです。
- ・山口先生の発達心理の観点による幼児学童の交通行動についての講義は大変すばらしく、納得でき、これから心がけていきたいと心から思いました。
- ・全国から出席し参加される機会なので、県警でご披露されているような音楽隊(少人数でも良い)をご披露してほしい。
- ・集中して受講できる環境を設けていただき、感謝しております。ありがとうございました。こうした研修にまた参加できたらと思います。
- ・とても勉強になりました。今後自分のものとして指導する立場で 1 人でも多くの方を話術で引きつけていきたいです。
- ・実際に交通安全教室に行っている方と道路に立ち通学指導をしている方と混合になっているが、グループ討議になると、なかなか同じ方向に進んでいけないので、別にした

- 方が良いのではないかと。グループも人数が多いと思います。
- ・他県の活動方法が自分達の活動にたいへん参考になった。
 - ・旅費の宿泊は本部で予約してほしいです。交通費は個人でもいいと思います。スクリーンが画面が暗くて見えづらい時がありました。
 - ・3 日間の内閣府主催の交通安全指導者養成講座を受講という貴重な機会を与えて頂き、安心・安全のため、そして尊い大切な命を守るという自身に与えられている活動を今まで以上に頑張りたいと思いました。有難うございました。今回の受講で改めて県民の皆さんが家庭・学校・職場や車の運転中、歩行中等いつでも交通安全を意識し交通事故のない安全・安心な秋田のため笑顔で活動を続けたいと強く思いました。
 - ・3 日間お世話になりました。ありがとうございました。
 - ・全国各地の交通安全教育・啓発に関わる方々が集まる機会はなかなか持てないので、この場でいろいろな方々のいろいろな意見を伺うことができたのは、今後の地元での活動にとって貴重な機会になった。これを通して、日本全国で交通事故が減少すれば良いと思う。
 - ・藤原先生の講義を事前に聞いていたので事例発表をすることができました。
 - ・1 度受けた事がある者に、もう一度その後の変化等で話し合えるから数年後に再度集まって討議するのも良いと思う。楽しかったです。
 - ・事前資料が自宅に郵送されるとき、封筒にこの講座名が記載なく、聞いたことのない企業で不信に思いました。開封が怖かったです。今後は宛名の所(封筒)に、この講座名を記載してもらえるとありがたいです。
 - ・ホテルの確保は主催者側にて行い、2泊内1泊については参加者の交流の場を企画してはどうかと思います。
 - ・現在高齢者向き交通安全 DVD(内閣府…舞の海さんが出演しているもの)を使わせていただいておりますが、とても効果的だと思います。しかし、示されたデータ等が古く少々使いにくくなっています。現在内閣府で作成している DVD 教材はどのようなものがあるのでしょうか。幼児、児童、中・高生向きの内容もあるのでしょうか。紹介していただけると、ありがたいです。またそのような DVD をいいいただけるとありがたいです。(非常に予算がないので)
 - ・事例発表は大変勉強になりました。発表時間が少し短いような感じがした。心理学・子供の特性を理解し、指導することを再認識した。
 - ・HPなどで全国教室を見せて頂けたらものすごく参考になると思います。このような講習会で写真だけでも貼っていただけたら嬉しいです。他の地域ではどのような啓発品を配っているのか知りたい。アンケートも無記名にしてほしいです。(回答が必要な人には別のBOXを用意すれば良いのでは。アンケート結果はどこかでわかりますか?)
 - ・テーマを決めて話しをし、発表するのも良いと思いますが、もっと実際にどんな事をしてどんな教材を使って話をしているのかが一番知りたいことだと思うので、スキルを交換し合える場所であると良いと思いました。

- ・会場は明かりがうす暗く、手元の資料が読みにくかった。
- ・グループ討論は、各担当内容にあったグループ分けをし、テーマを主催者で決めて、意見を出してもらい、問題点があればその対策について出してもらいまとめるといったやり方をしないと司会者進行に支障が出てまとめにくいと思います。自分が担当しないところは全くわからないという人がいます。
- ・3日間とも大変良い勉強になりました。初めて参加しいろいろな事がとても良く判りました。今後今回習った事を活かして頑張っていこうと思います。有り難うございました。
- ・グループ討論の総括についてはアドバイザーが欲しい。
- ・3日間とても有意義な時間となりました。大規模な運営で大変だったでしょうが、今回参加できてことを嬉しく思い感謝申し上げます。ありがとうございました。(各講座の資料があり助かりました！！)
- ・事例発表を開いてどのような活動をしているのか学べて良かった。研修で学んだことをまわりにも伝え活かしていきたいと思う。ありがとうございました。
- ・交通安全は家庭からという事をあらためて今回の講座で再確認させられました。
- ・さまざまな立場の方が参加しているので、グループ討議は難しいのかと実感しました。
- ・申込み用紙に経験が5年未満とありましたが、経験豊富な方がたくさんおられたのでびっくりしました。
全国の同じ志をもつ仲間と話ができたことがうれしく感謝です。
- ・非常に充実した3日間でした。学んだことを今後役に立て、益々意味ある交通安全教育にしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・山口先生の問題意識は大事な観点だと実感している。ではどうしたら？子供自身が自分のいのちを守るような指導の具体的(実践)取組み事例は？について、さらに教えていただきたいし、自分も深めていきたいと考えている。
- ・三日間ありがとうございました。勉強になりました。
- ・事務局の方へ。講座のしおり、宿泊案内等の発送が2週間前というのは、少し遅いように思いました。できれば受講者を同じホテルに宿泊させるような事ができればいいのかなと思いました(研修会場に…)
- ・交通安全教室を行っている人と、交通安全指導で街頭で日々頑張られている方では知りたい内容が少し違う所があると思います。そこを分けた講座を数時間作っていただけたらより有意義な講座になるのではないかと思います。
- ・大変勉強になりました。また受講させていただきたいし、まだ受けてない方に教えたいと思いました。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・テキストの事前配布があっても良いのでは。福島県では対象者を交通安全教育専門委員としておりますが今回参加してみて、他県では交通教室を主体とする活動の指導する立場の人が多数であるように思われます。どちらかに絞った方が良いのではと感じました。
- ・とても充実した3日間でした。内容も濃く密な時間でした。早速明日からここで学んだこ

とを生かせるように、職員間で話し合いをして取り入れて、より良い交通安全教育ができるよ、努めていきたいと思いました。

- ・交通安全指導者養成講座に参加することが初めてでしたので先生方のそれぞれの講座が新鮮で勉強になりました。何か必ずこの講座で学んだことを役に立てていきたいと思います。
- ・グループ討議はありきたりの意見になってしまい時間のムダのような気がしましたそれぞれどのような活動をしているのか具体的な話を順番に聞かせてもらったほうが、教材作りや内容のヒントになり有意義だったような気がします。
- ・ホテル等の予約が有るのでもう少し早く事前連絡を送付してほしい。実質私どもは街頭指導等で交通安全啓蒙活動を行っている者は小中学生の前で講話をしている指導員との乖離が有ると思うので指導員の活動のやり方でグループを分けた方が良いのではないかと思う。
- ・可能であれば、講座開催曜日を、(水)～(金)でお願いしたいです。(月)～(金)仕事なので(月)～(水)開催だと(木)(金)が通常業務のため。